

オートコン

簡易ボイラ (ガス焚)

給湯・暖房用 AWH シリーズ

給湯専用貯湯型 AWS シリーズ

AWH- 501GB	N/L	AWS- 501GB	N/L
AWH- 601GB	N/L	AWS- 601GB	N/L
AWH- 701GB	N/L	AWS- 701GB	N/L
AWH- 801GB	N/L	AWS- 801GB	N/L
AWH- 901GB	N/L	AWS- 901GB	N/L
AWH-1001GB	N/L	AWS-1001GB	N/L
AWH-1201GB	N/L	AWS-1201GB	N/L
AWH-1501GB	N/L	AWS-1501GB	N/L
AWH-1801GB	N/L	AWS-1801GB	N/L
AWH-2001GB	N/L	AWS-2001GB	N/L

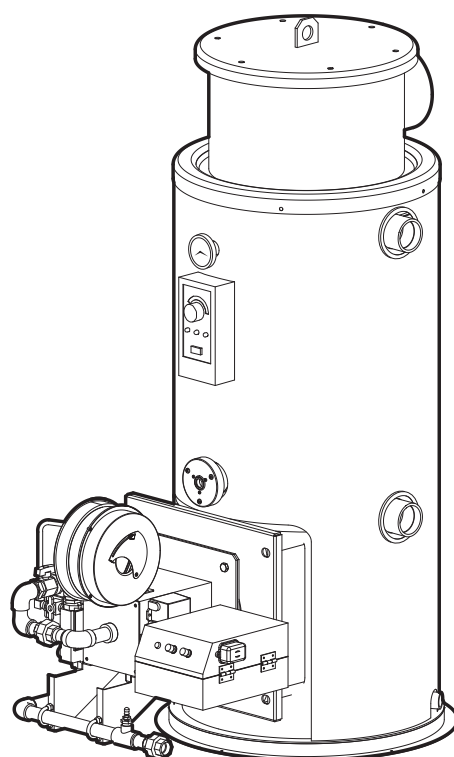
お客様へ

このたびはネポン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになった後は、手元においてご使用ください。

- ◎この製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- ◎この製品は給湯・暖房用です。他の用途には使用しないでください。



もくじ

取扱編

①	安全上のご注意	4
②	製品型式記号と意味	9
③	各部のなまえとはたらき	10
3-1	外観図	10
3-2	バーナ外観図	12
3-3	制御部	15
④	使用前の準備	16
4-1	燃料	16
4-2	対震自動消火装置（地震感知器）の確認	16
4-3	電源の投入	17
4-4	ガスの準備	17
⑤	運転前の確認	18
5-1	ガス漏れの確認	18
5-2	給水の確認	19
5-3	水漏れの確認	19
5-4	煙道・煙突・給気口・排気口の確認	20
5-5	電源の確認	20
5-6	アースの確認	20
⑥	使用方法	21
6-1	運転	21
6-2	停止	22
6-3	停電発生時の処置	23
6-4	凍結予防について	23
⑦	安全装置	24
7-1	安全装置	24
7-2	その他の装置	26
⑧	日常の点検・お手入れ	27
8-1	毎日の点検・お手入れ	28
8-2	月に1～2回の点検・お手入れ	28
8-3	6カ月に1回の点検・お手入れ	29
⑨	長期間使用しないときのお手入れ	30
9-1	凍結予防のしかた	30
⑩	故障・異常の見分けかたと処置方法	32
10-1	故障診断	32
10-2	燃焼安全制御装置のランプ表示による診断	34
⑪	部品交換のしかた	35

12 仕様	36
12-1 仕様	36
12-2 配線図	37
13 据え付け工事	39
13-1 据え付け工事前の確認	39
13-2 サビノンシリホス(防錆剤)供給装置の取り付け	41
13-3 バイパス配管の取り付け	41
13-4 熱交換器の取り付け	41
13-5 電源配線の接続	42
13-6 据え付け工事後の確認	43
14 移設・廃棄・譲渡	45
■ 定期点検・お客様登録.....	46
■ 保証とアフターサービス.....	47

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、業務用施設や栽培物および動植物にかかわる拡大損害を意味します。

- 図記号の意味は、次のようになっています。



△は、注意（危険、警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「回転注意」を示します。



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。



●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「アース工事をすること」を示します。

ネポン指定以外の部品などの取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。

改造を行った場合、弊社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。

ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。

⚠ 危険

- 火気厳禁**

万一ガス漏れの際は、すぐにガス元栓を閉じる
処置が終わるまで、絶対に火を近づけないでください。
換気扇やその他、電気器具のスイッチ「入・切」、電源プラグの抜き差し、および周辺の電話を使用しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
- ガス漏れ確認**

ガス配管や弁類からガス漏れがないか確認する
爆発や火災のおそれがあります。
- ガス漏れ時 使用禁止**

ガスが漏れているときは、機器の使用を中止し、専門のサービスマンに連絡する
爆発や火災のおそれがあります。
- 煙突 外れ危険**

煙道・煙突および排気口が外れたままで使用しない
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 煙突 閉そく危険**

煙道・煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しない
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給気口 閉そく危険**

給気口付近に物を置いたり、雪などでふさがれたままで使用しない
ふさがれているときは、除雪してください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 換気必要**

運転するときは、室内の給気・排気をし、十分換気をする
(屋内設置の場合)
換気が不十分な場合、室内が酸素不足となり、不完全燃焼のおそれがあります。

⚠ 警告

必ず本体銘板に記載されているガス種・電源で使用する
表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼や異常点火、故障のおそれがあります。

バーナ銘板に記載された燃料以外は使用しない
火災や故障のおそれがあります。

燃料の種類

13A	都市ガス(13A)
LPG	L Pガス



警告

指定燃料以外
使用禁止本体銘板に記載された燃料以外
は使用しない

火災や故障のおそれがあります。



高温注意

給湯栓を開いた直後は、熱いお
湯がでることがあるので、手や
顔を近づけない

やけどのおそれがあります。

危険物
近接禁止機器の周辺に危険物を近づけ
ない

火災や爆発のおそれがあります。

可燃物
近接禁止機器の周辺に可燃物を近づけ
ない

火災のおそれがあります。

スプレー缶
厳禁機器の周辺にスプレー缶やコ
ンロ用ボンベを近づけない熱でスプレー缶内の圧力が上がり、
爆発するおそれがあります。

囲い禁止

機器や排気口を波板などで囲わ
ない不完全燃焼による一酸化中毒や火
災のおそれがあります。分解修理・
改造の禁止

分解・修理・改造はしない

ご自分で修理などを行い、使用さ
れますと事故のおそれがあります。異常時
使用禁止異常（異音・異臭）を感じたとき
は使用を中止し、お買い上げの
販売店、またはお近くのネポン
営業所に連絡する異常のまま使用すると感電や火災
のおそれがあります。指定部品
使用オプション品（別売品）もネポ
ン指定品を使用する指定以外の部品を使用すると、事
故・故障のおそれがあります。

専門業者

据え付け・配管・電気工事は、
必ずお買い上げの販売店、また
は専門の工事業者に依頼する不備があると、火災・水漏れ・感
電のおそれがあります。

専門業者

移設工事や移動は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ
依頼する移設工事や移動はお客様ご自身で行わないでください。
不備があると、感電や火災のおそれがあります。

 **注意**

<p> 給湯・暖房（・昇温）以外の用途で使用しない <small>転用禁止</small> 故障や事故のおそれがあります。</p>	<p> 燃焼中や消火直後は、高温部（バーナ周辺や煙道・煙突）に手など触れない <small>高温部接触禁止</small> やけどのおそれがあります。</p>
<p> 長期間使用しないときは元電源を切る <small>電源を切る</small> 感電や動作不良のおそれがあります。</p>	<p> 水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する <small>水道法以外の水の使用禁止</small> 故障や水漏れのおそれがあります。</p>
<p> ぬれた手で、スイッチなどを操作しない <small>ぬれた手禁止</small> 感電のおそれがあります。</p>	<p> 飲料用として使用しない <small>飲料用使用禁止</small> ひふ障害や、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。</p>
<p> バーナの空気吸い込み口やモータなどの回転部に手を入れない <small>回転部接触禁止</small> けがのおそれがあります。</p>	<p> 地震・雷が発生したときは、速やかに運転を停止し、ガス元栓を閉じ、元電源を切る <small>元電源を切る</small> 火災や機器破損、異常動作を起こすおそれがあります。</p>
<p> 運転中は、点火トランスやそのリード線には触れない <small>配線部接触禁止</small> 感電のおそれがあります。</p>	<p> 電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せない <small>電源コードを傷めない</small> 火災や感電のおそれがあります。</p>
<p> 凍結予防を必ず行う <small>凍結予防</small> 配管が破裂してやけどするおそれがあります。</p>	<p> 機器の水抜きは、機器が冷えてから行う <small>水抜き注意</small> やけどのおそれがあります。</p>
<p> アース線が確実に接続されているか確認する <small>アース工事確認</small> 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。</p>	<p> 機器は金属以外で不燃性のしっかりとした床面に設置してあるか確認する <small>床面確認</small> 火災や転倒のおそれがあります。</p>
<p> 基礎工事は確実にされているか確認する <small>基礎工事確認</small> 固定が不十分なまま使用すると、火災や転倒のおそれがあります。</p>	<p> 据え付け工事が正しくされているか確認する <small>施工確認</small> 不備があると感電や火災のおそれがあります。</p>



注意

水ぬれ
禁止

屋外設置の場合、雨天時に点検
やお手入れを行うときは、本体
内部機器に雨水がかからないよ
うにする

感電のおそれがあります。

ガス元栓を
閉じる

点検やお手入れをするときは、
機器を停止させ、元電源を切り、
必ずガス元栓を閉じる

けがのおそれやガスが室内に漏れ
て危険です。



専門業者

廃棄は専門業者へ依頼する

廃棄する場合は、必ず専門業者に
依頼してください。絶対に投棄な
どはしないでください。



定期点検

日常の点検・お手入れは必ず
行う

機器が故障するおそれがあります。



定期点検

定期的に点検・整備を受ける

整備不良がありますと、事故のお
それがあります。

取扱説明書
添付

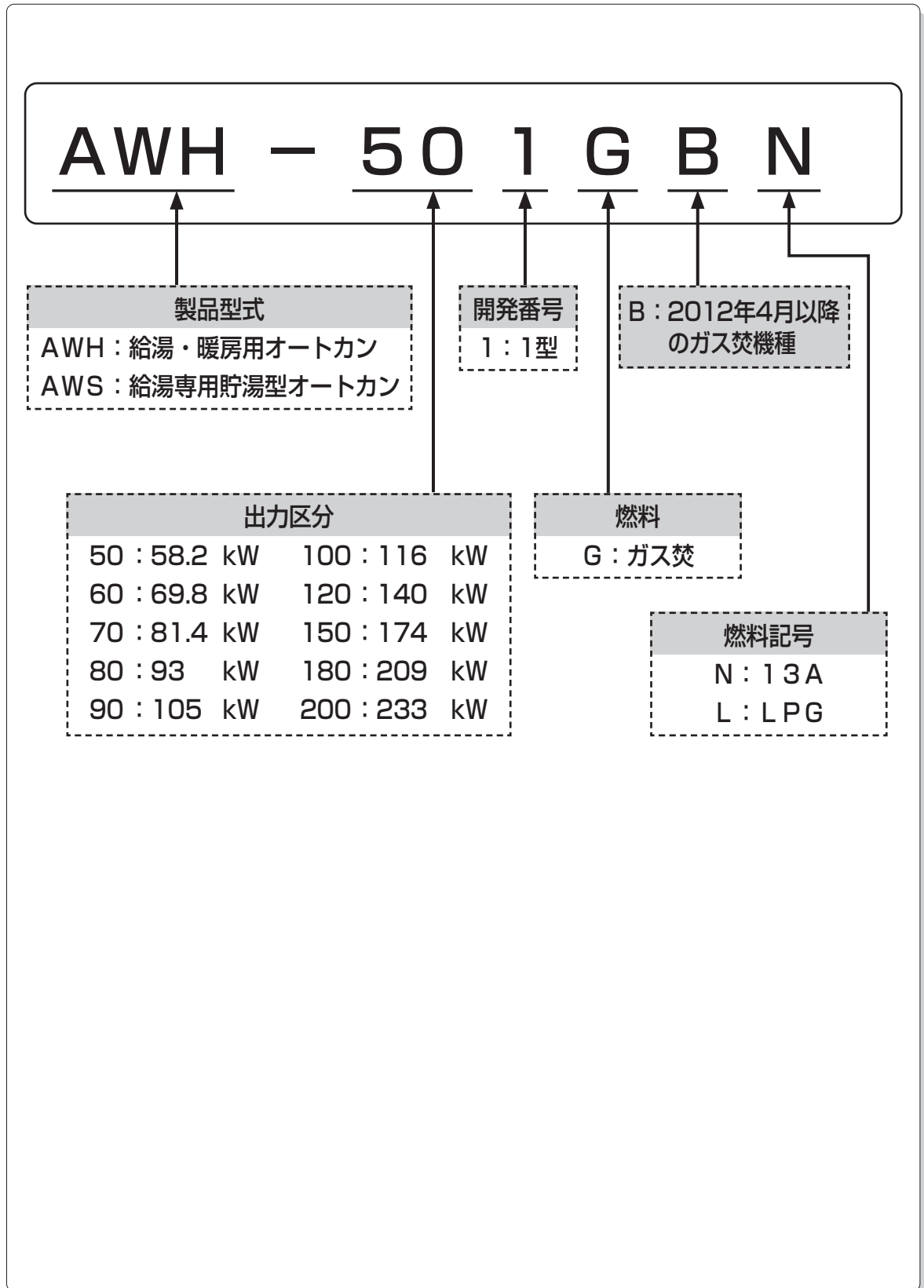
譲渡のときは取扱説明書を添付
する

お使いになっている機器を他に売っ
たり、譲渡されるときは、新しく所
有者となる方が安全な正しい使い方
を知るために、この取扱説明書を機
器の目立つところにテープ止めして
ください。

製品型式記号と意味

■お買い上げいただいたオートカンの型式は、以下のような意味を表しています。

- 取扱説明書の中で、型式の違いにより説明内容が異なる場合があります。
- 製品に貼り付けてある主銘板をご覧になり、該当する機種をご確認ください。



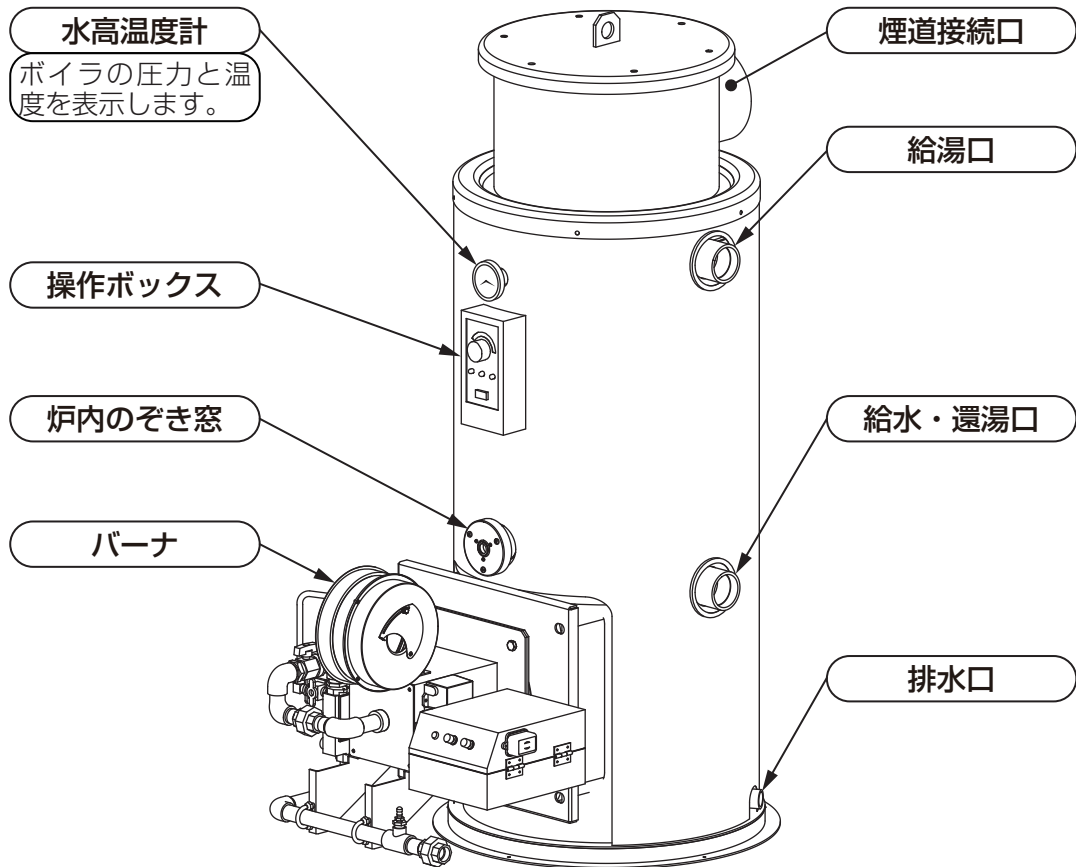
3

各部のなまえとはたらき

3-1 外観図

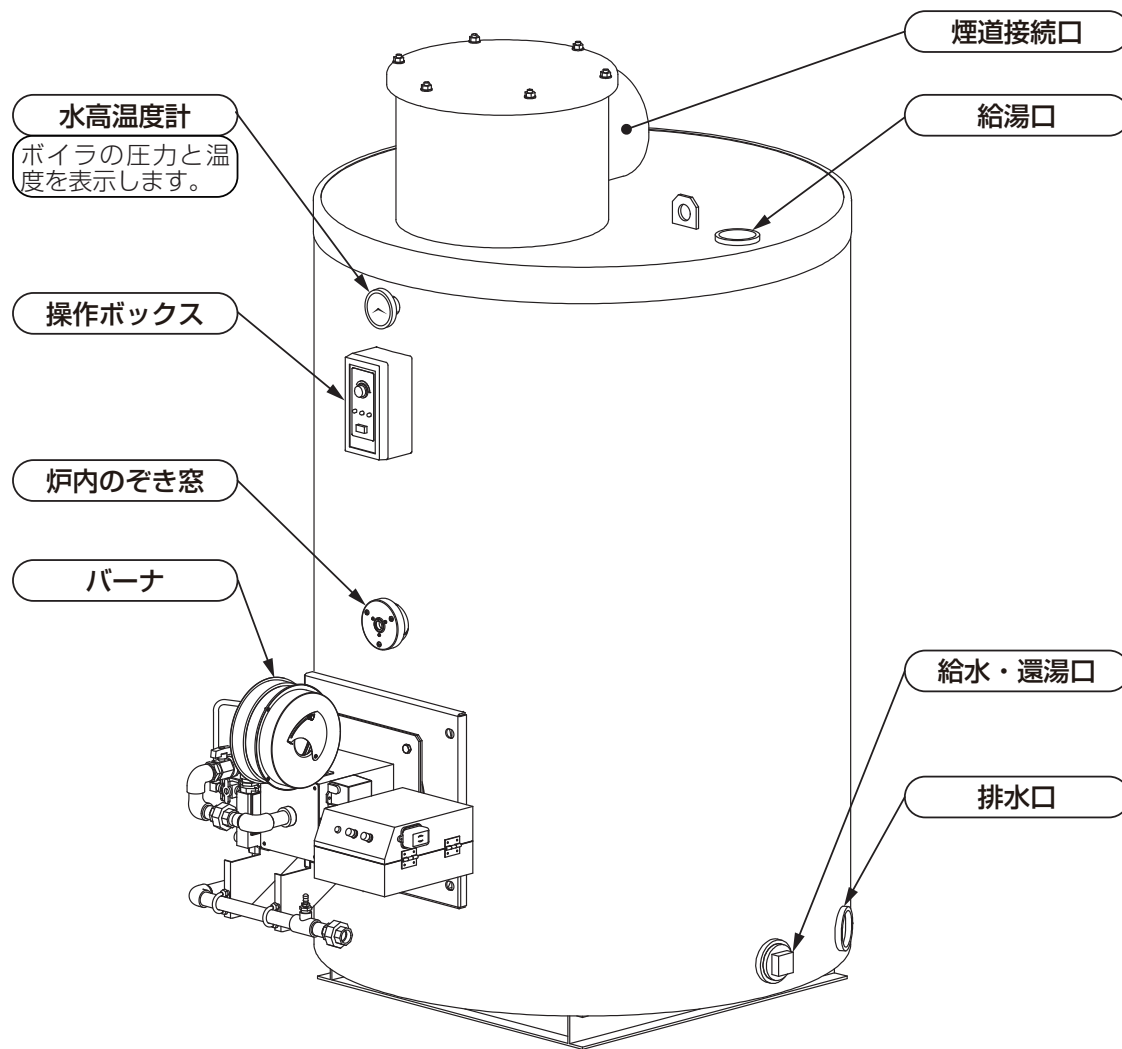
AWHシリーズ

外観図



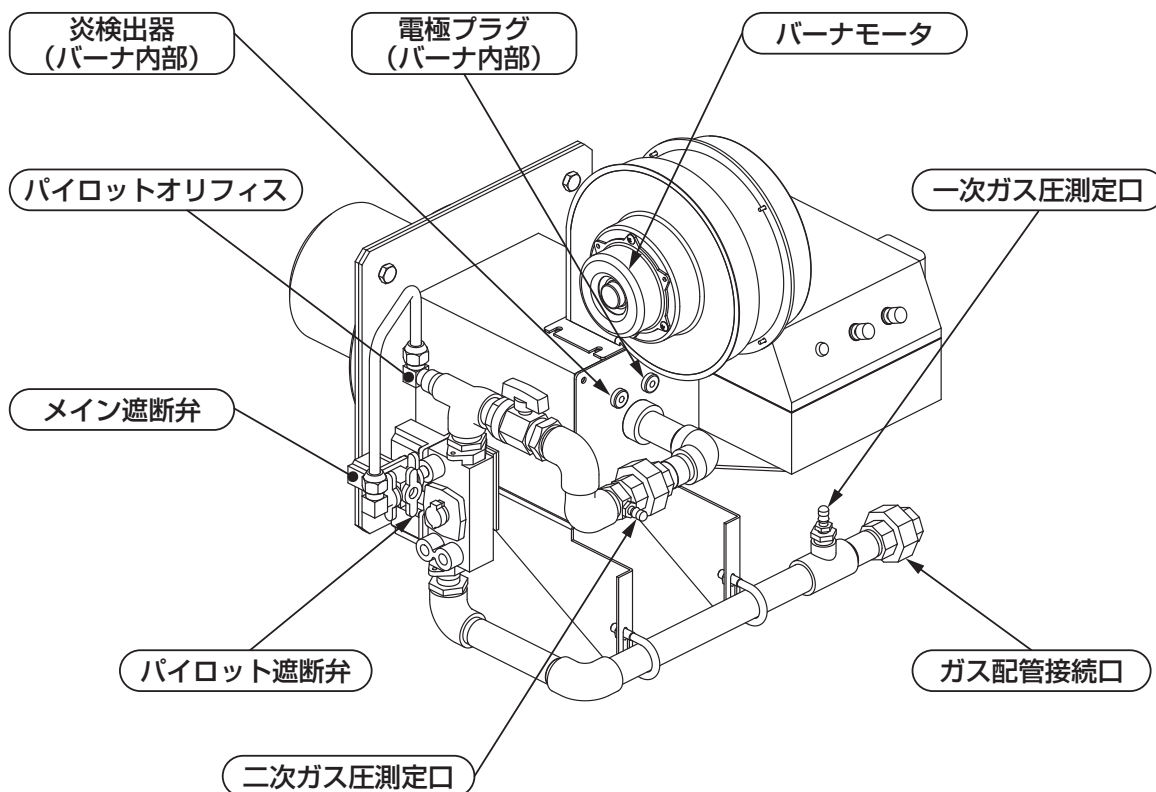
取扱編

AWSシリーズ

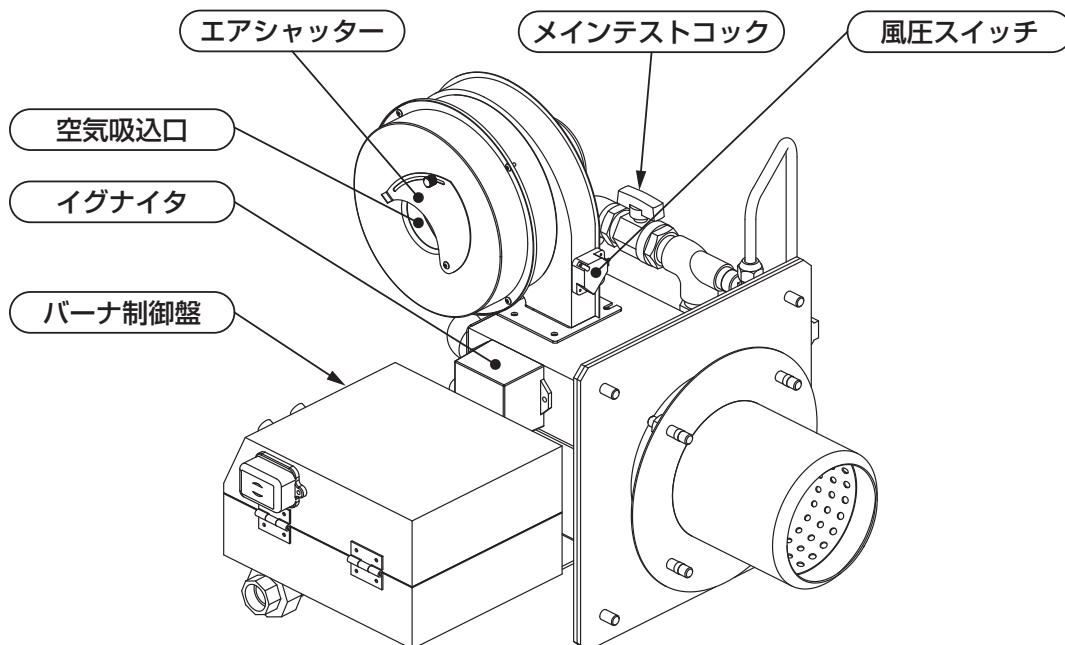


3-2 バーナ外観図

AWH/S-501N/L

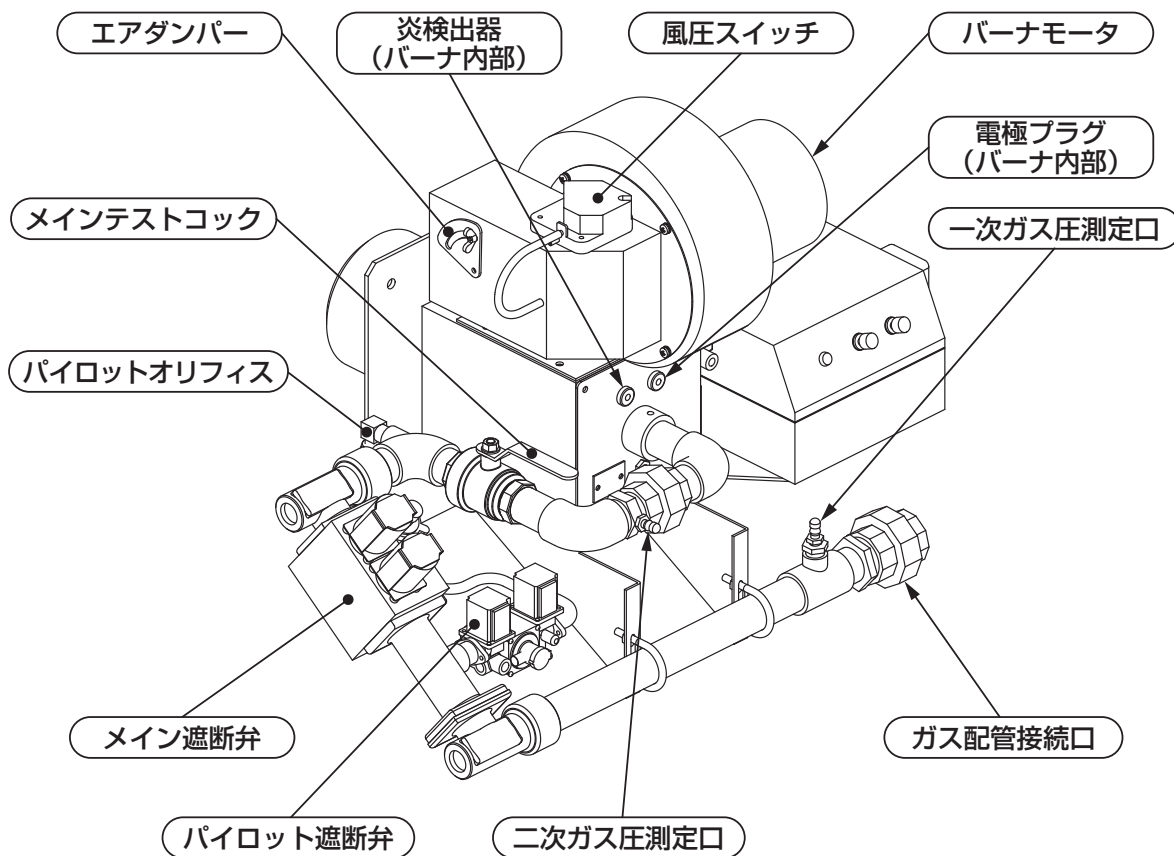


正面

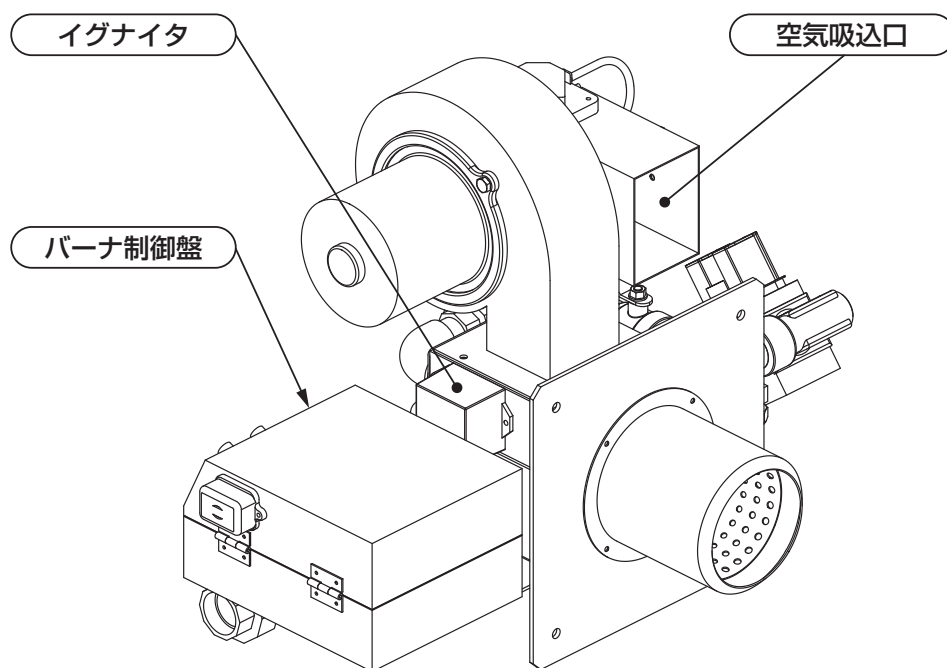


背面

AWH/S-601~1201N/L

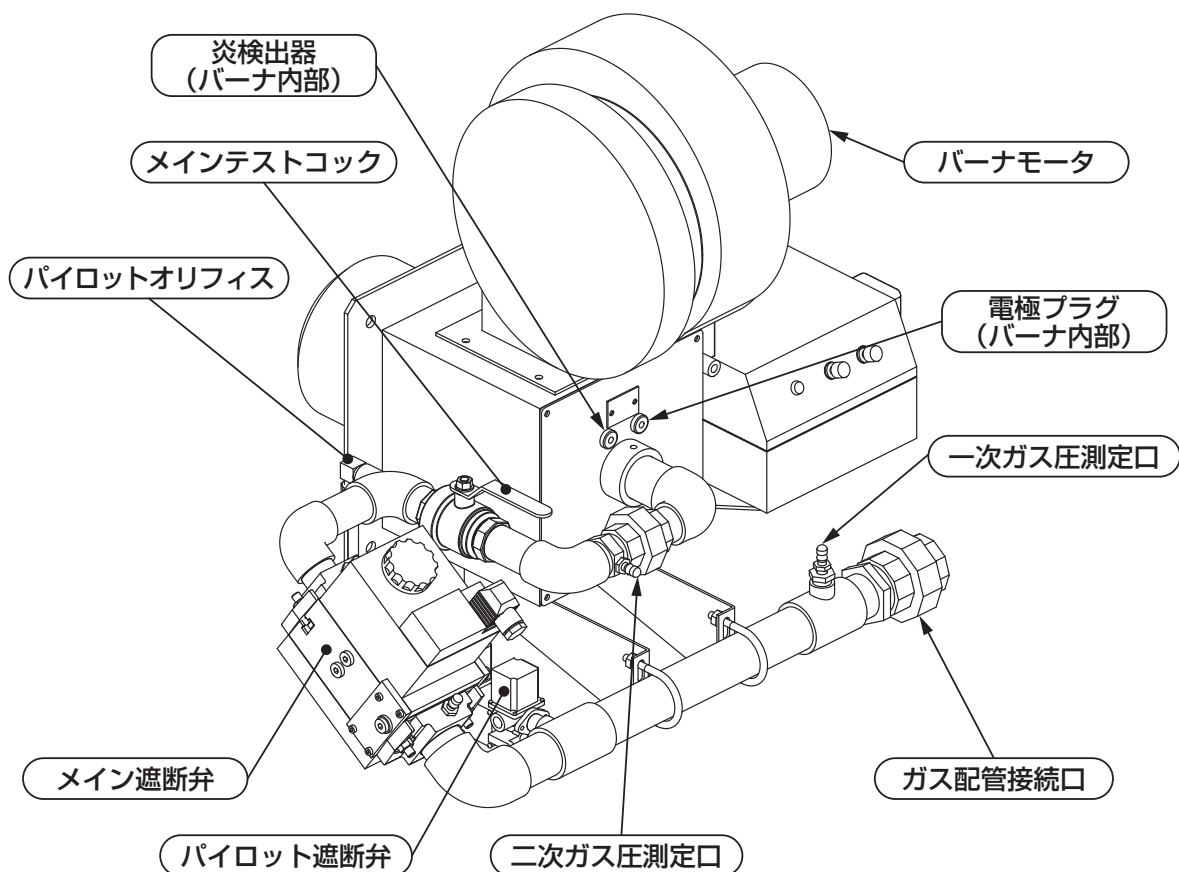


正面

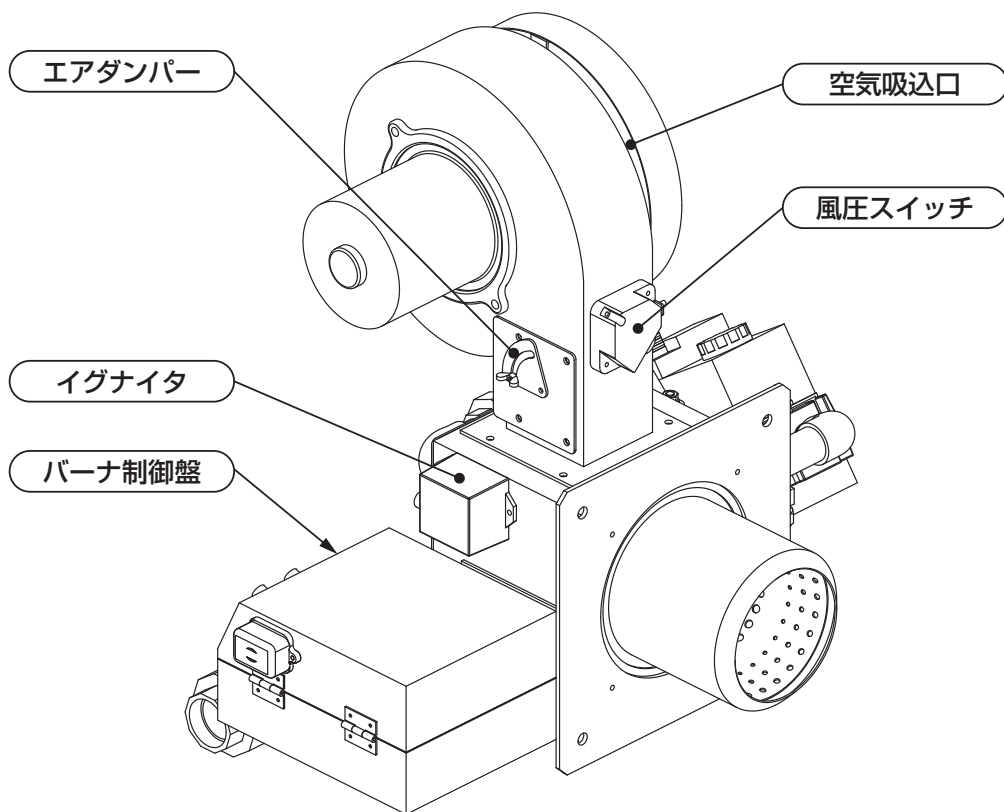


背面

AWH/S-1501~2001N/L



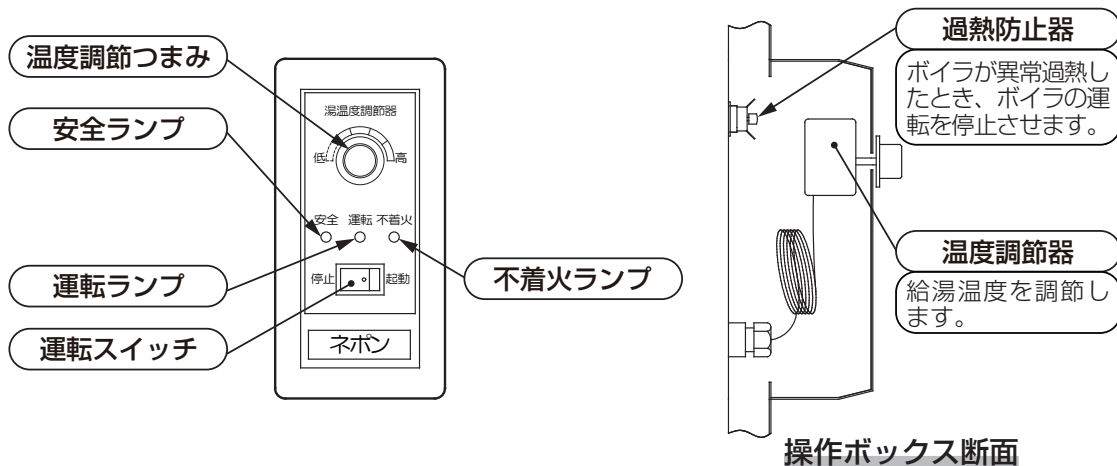
正面



背面

3-3 制御部

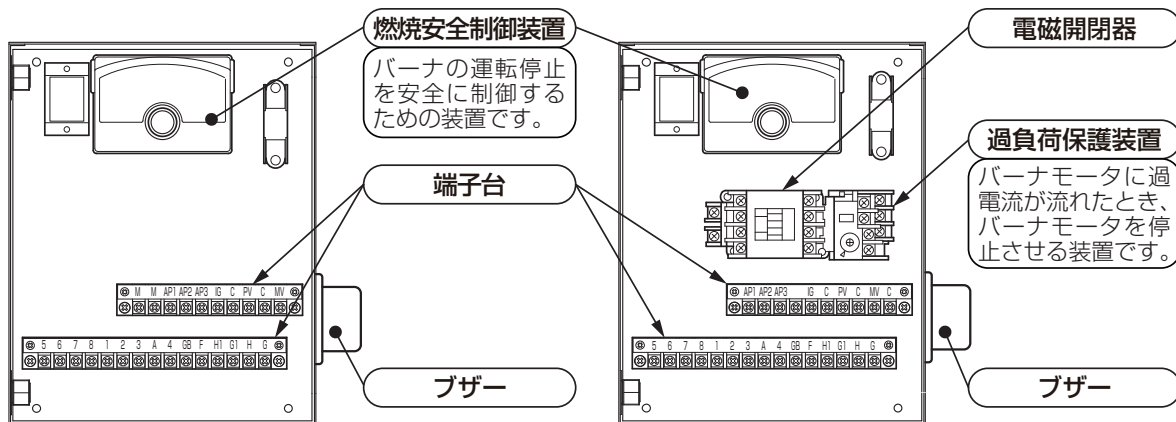
操作ボックス



バーナ制御盤(100V)

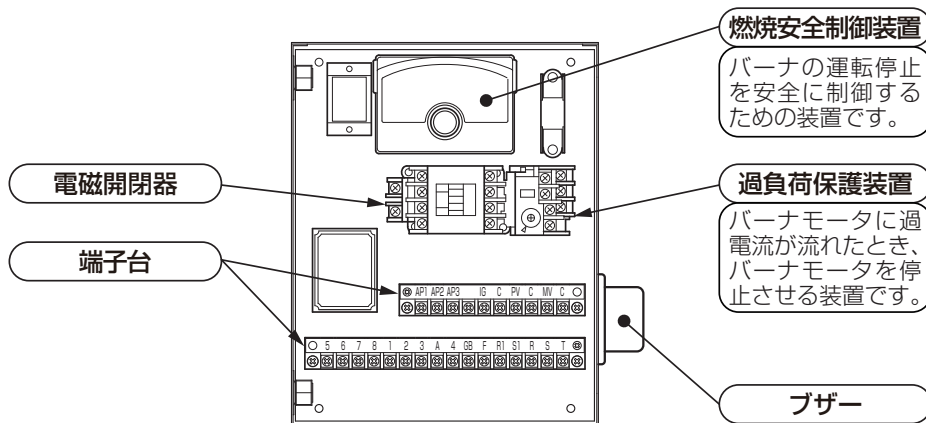
●AWH/S-501GB

●AWH/S-601~1001GB



バーナ制御盤(200V)

●AWH/S-1201~2001GB



4

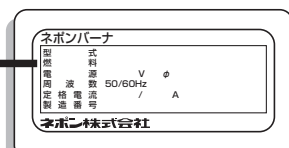
使用前の準備

4-1 燃料

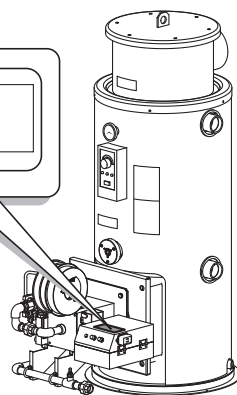
- バーナ銘板に記載された燃料以外は使用しないでください
火災や故障のおそれがあります。



燃料の種類	
13A	都市ガス(13A)
LPG	LPガス



その他の記号が記載されている場合は、お買い上げの販売店に燃料の種類を確認してください。



4-2 対震自動消火装置 (地震感知器) の確認

お知らせ

- 対震自動消火装置 (地震感知器) はオプション品 (別売品) です。ご購入、取り付けに関してはお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へお問い合わせください。

■ 対震自動消火装置 (地震感知器) は出荷時、輸送中の保護のため、中の鋼球がチェッカーボタンで固定されています。

■ 以下の手順で対震自動消火装置 (地震感知器) を確認してください。

① カバーを外す

カバーを固定しているねじを緩めて、対震自動消火装置 (地震感知器) のカバー (赤色) を外します。

② チェッカーボタンを回す

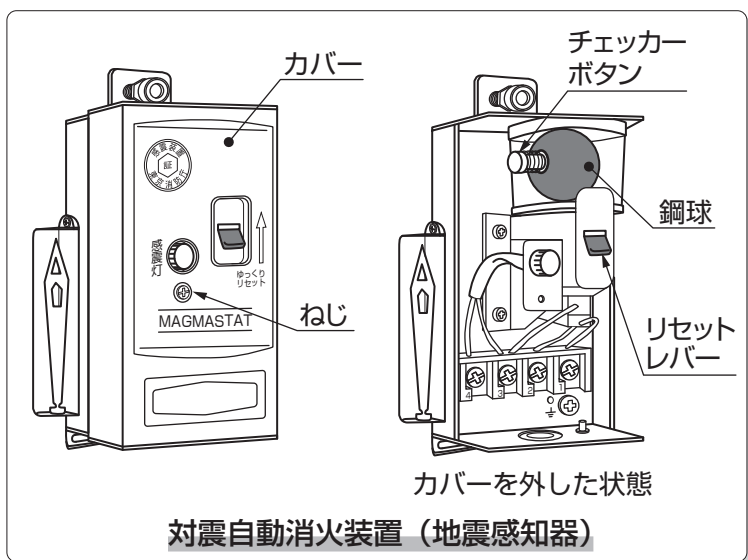
チェッカーボタンを反時計回りに270° 回転させ、鋼球を動かします。

③ リセットレバーを上げる

リセットレバーをゆっくり上に上げて、鋼球を中央に静止させます。

④ カバーを元に戻す

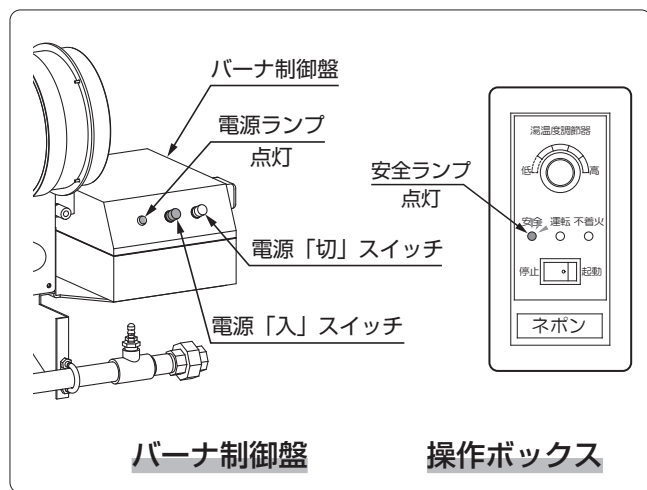
カバーを元の位置にはめ、①で外したねじで固定します。



4-3 電源の投入

■以下の手順で電源を入れてください。

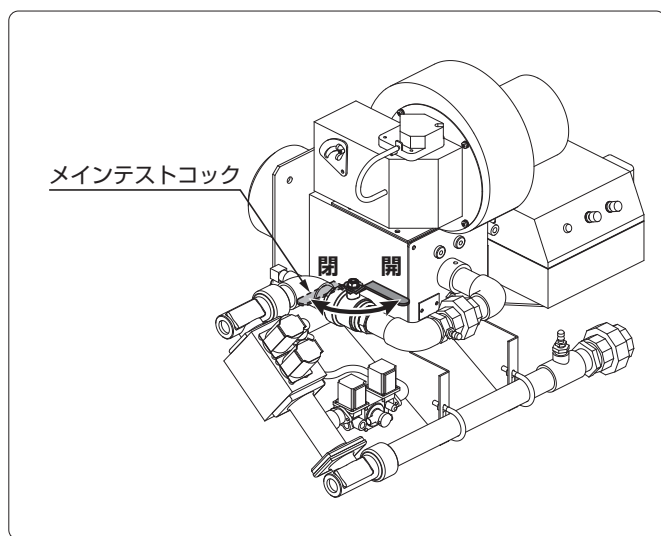
- ① 配電盤の元電源を入れる
- ② バーナ制御盤の電源「入」スイッチを押す
バーナ制御盤の電源ランプと操作ボックスの安全ランプが点灯します。



4-4 ガスの準備

危険 ●ガス配管や弁類からガス漏れがないことを確認してください
爆発や火災のおそれがあります。

- ① ガス元栓を開ける
- ② メインテストコックを開ける
メインテストコックのバルブを反時計回りに90°回します。
(右図はAWH/S-601~1201 N/Lのバーナです)



お願い ●ガス漏れに気づいたときは、すぐにガス元栓を閉めて機器の使用を中止してください。
➔18ページ「5-1 ガス漏れの確認」を参照してください。

5

運転前の確認



警告

- 機器の周辺に可燃物を近づけないでください
火災のおそれがあります。
- 機器の周辺に危険物を近づけないでください
火災や爆発のおそれがあります。

5-1 ガス漏れの確認



危険

- 万一ガス漏れの際は、すぐにガス元栓を閉じてください
処置が終わるまで、絶対に火を近づけないでください。
換気扇やその他、電気器具のスイッチ「入・切」、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。
爆発や火災のおそれがあります。
- ガス配管や弁類からガス漏れがないか、確認してください
爆発や火災のおそれがあります。
- ガスが漏れているときは、機器の使用を中止し、専門のサービスマンに連絡してください
爆発や火災のおそれがあります。

■ ガス配管や弁類からガス漏れがないか確認してください。

■ ガス漏れに気づいたときは、以下の処置をしてください。処置が終わるまでの間、絶対に火を使用しないでください。

- ① すぐに使用を中止して、ガスの元栓を閉じる
- ② 窓や戸を開け、ガスを外へ逃す
- ③ ガス事業者、またはお買い上げの販売店に早急に連絡する
ガス事業者、またはお買い上げの販売店に連絡し、適切な処置を受けてください。

5-2 給水の確認

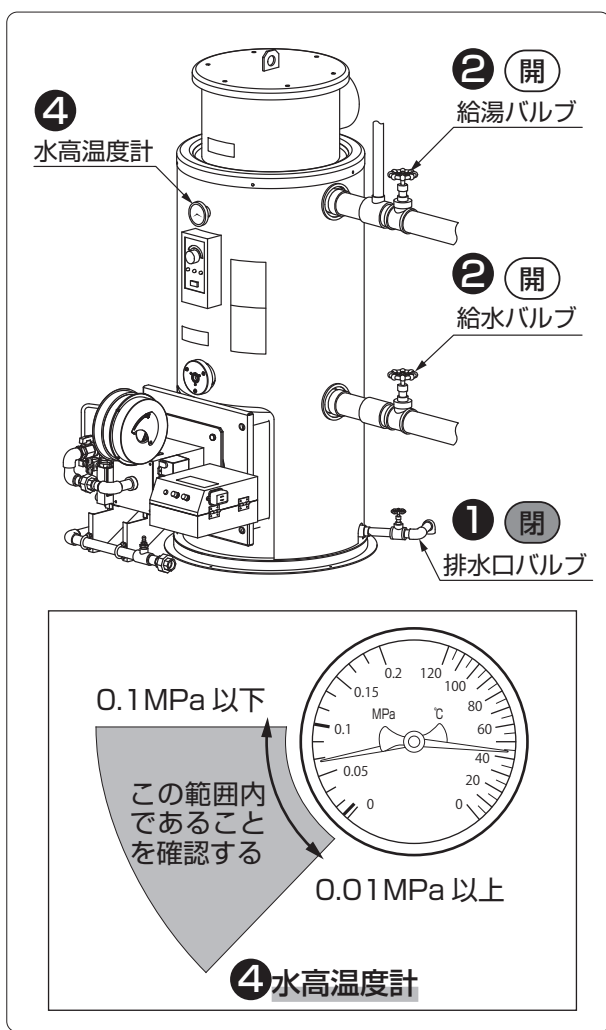


注意

- 水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用してください。事故や水漏れのおそれがあります。
- 缶体に水が入っているか確認してください。空焚きを起こし、火災のおそれがあります。
- 機器本体や配管から水漏れがないか確認してください。故障や腐食のおそれがあります。

■以下の手順で缶体に水が入っていることを確認してください。

- ① 本体の排水口バルブが閉じている
- ② 給水側、給湯側のバルブが開いている
- ③ 給湯栓から水が出る



- ④ 水高温度計の圧力が0.01MPa以上、0.1MPa以下である

5-3 水漏れの確認

■機器や配管から水漏れがないか確認してください。

5-4 煙道・煙突・給気口・排気口の確認

**危険**

- 煙道・煙突および排気口が外れたままで使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 煙道・煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

**警告**

- 給気口付近に物を置いたり、雪などでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは取り除いてください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 機器や排気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

5-5 電源の確認

**警告**

- ぬれた手で、スイッチなどを操作しないでください。感電のおそれがあります。

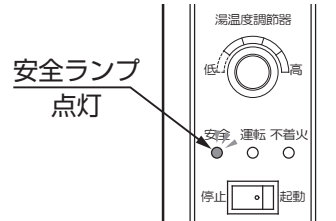
**注意**

- 電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。火災や感電のおそれがあります。

■ 配電盤の元電源およびバーナ制御盤の電源スイッチを入れ、操作ボックスの「安全ランプ」が点灯していることを確認してください。

お願い

- 安全ランプが消灯している場合は、
→32ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」を参照してください。



操作ボックス

5-6 アースの確認

**注意**

- アース線が確実に接続されているか確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

**危険**

- 運転するときは、室内の給気・排気をし、十分換気をしてください。換気が不十分な場合、室内が酸素不足となり、不完全燃焼を起こすおそれがあります。

**警告**

- 本体周辺や上に衣類などを干して、乾燥しないでください。衣類が落下して火がつき、火災のおそれがあります。
- 給湯栓を開いた直後は、熱いお湯が出ることもあるので、お湯に手や顔をつけないでください。やけどのおそれがあります。

**注意**

- 燃焼中や消火直後は、高温部（バーナの周辺や煙道・煙突）に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。
- めれた手で、スイッチなどを操作しないでください。感電のおそれがあります。
- 飲料用として使用しないでください。ひふ障害や、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。
- バーナの空気吸い込み口やモータなどの回転部には手を触れないでください。けがのおそれがあります。
- 地震・雷が発生したときは、速やかに運転を停止し、ガス元栓を閉じ、元電源を切ってください。火災や異常動作をおこすおそれがあります。
- 運転中は、点火トランスやそのリード線には触れないでください。感電のおそれがあります。
- 機器本体や燃料配管などに乗らないでください。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

6-1 運転

- 操作ボックスで操作します。
以下の手順で運転を開始してください。

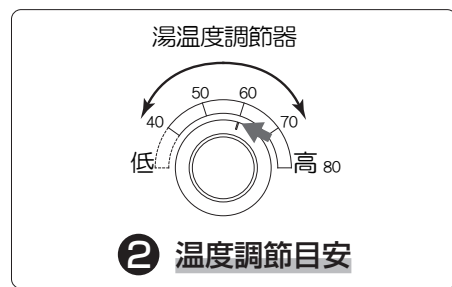
① 安全ランプが点灯していることを確認する

② 温度調節器つまみを回し、温度を調節する

○設定温度の目安は、右図のとおりです。

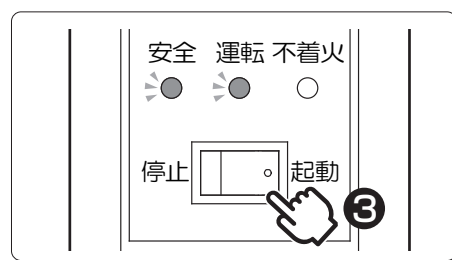
お願い

- 温度調節器設定を50℃未満にしないでください。
50℃より低い温度で使用すると、結露水により缶体の寿命が短くなることがあります。
- 温度調節器設定を50℃未満で使用する場合は、バイパス配管を設ける必要がありますので、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。
➔41ページ「13-3 バイパス配管の取り付け」参照

**③ 運転スイッチを「起動」にする**

○運転ランプが点灯し、バーナが起動します。

○設定温度に応じて、バーナは自動運転します。

**6-2 停止**

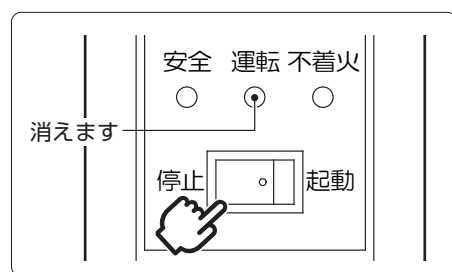
■操作ボックスで操作します。

以下の手順で運転を停止してください。

① 運転スイッチを「停止」にする

○運転ランプが消灯します。

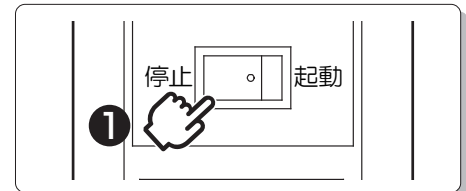
○バーナが停止します。



6-3 停電発生時の処置

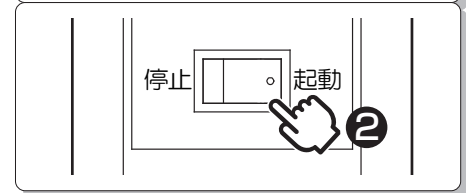
① 運転を中止する

- ① 運転スイッチを「停止」にします。
- ② バーナ制御盤の電源「切」スイッチを押します。
- 再通電するまで使用を中止してください。



② 再通電後、運転を再開する

- ① 機器各部の安全を確認します。
- ② バーナ制御盤の電源「入」スイッチを押します。
- ③ 運転スイッチを「起動」にします。



お願い

- 停電などで運転を停止したときは、運転前に必ず機器内と水道配管が凍結していないことを確認してください。

6-4 凍結予防について

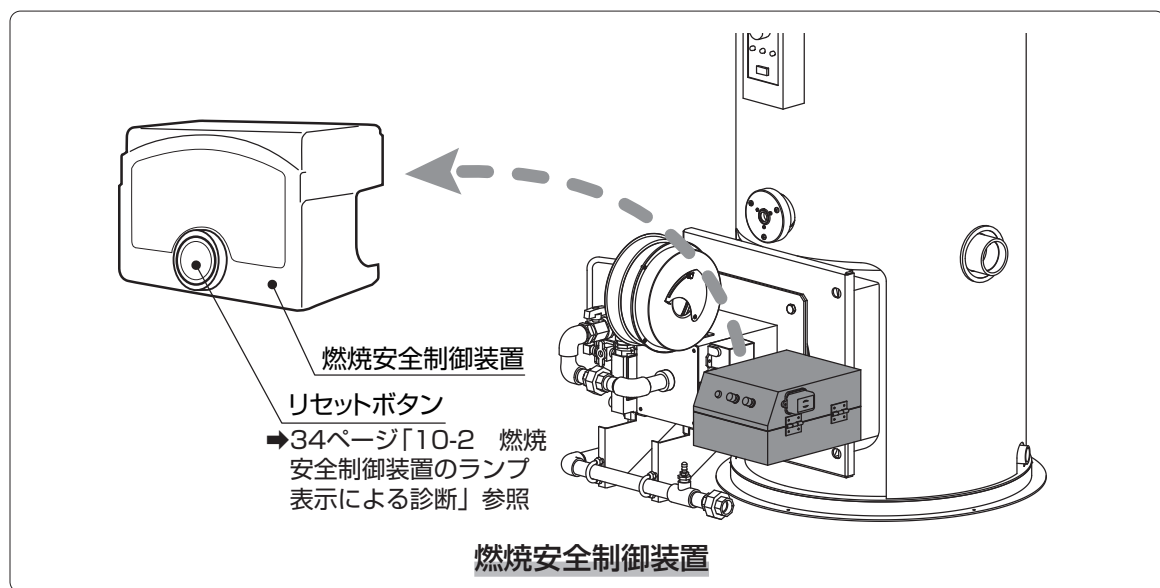
- 冬季は、配管や機器内の水が凍結し、機器が破損することがあります。必ず凍結予防を行ってください。
- ➔ 30ページ「9-1 凍結予防のしかた」参照

安全装置

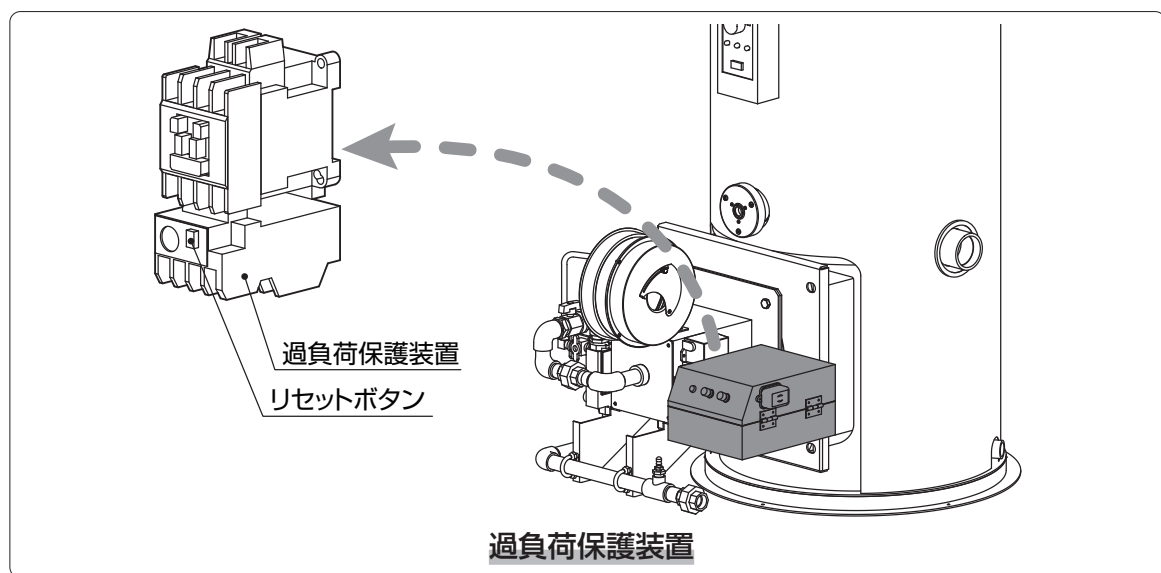
7-1 安全装置

- この機器は以下のような安全装置を搭載しています。異常が発生したときに作動して、運転を停止させたり、異常内容をお知らせします。
- 異常の原因や処置については→32ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」をご覧ください。
- 安全装置をリセットしても再度作動するときは、運転を停止して、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

装置名	ランプ表示	原因	対処方法
燃焼安全制御装置 ・バーナが着火に失敗したとき(不着火)や、燃焼中に火が消えてしまったとき(途中失火)に作動	不着火ランプ 点灯	ガス元栓が閉じている	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス栓を開いてください。 →17ページ「4-4 ガスの準備」の手順で行ってください。 ・燃焼安全制御装置のリセットボタンを約1秒押し、バーナを再起動させてください。(下図参照)
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・燃焼安全制御装置のリセットボタンを約1秒押し、バーナを再起動させてください。(下図参照)



装置名	ランプ表示 状況	原因	対処方法
過熱防止装置 ・ 缶体の水の沸騰を防止するため、缶体の水温が異常に上昇したときに作動	安全ランプ 消灯	温度調節器の故障 空焚き (給水しない状態で燃焼した)	・ 運転スイッチを「停止」にし、バーナ制御盤の電源「切」スイッチを押して電源を切ってから、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。
対震自動消火装置 (地震感知器) * オプション品 ・ 地震が発生したときに作動	安全ランプ 消灯	震度5以上の地震が発生した 対震自動消火装置(地震感知器)が強い衝撃を受けた	・ 対震自動消火装置(地震感知器)をリセットしてください。機器および周囲の安全を確認した後、➔16ページ「4-2 対震自動消火装置(地震感知器)の確認」の手順で行ってください。
過負荷保護装置 (AWH/S-501GBN/Lを除く) ・ モータの焼損を防止するため、モータに過電流が一定時間以上流れると作動	バーナモータ 停止	モータに異常な負荷がかかった	・ 過負荷保護装置のリセットボタンを押して、バーナを再起動させてください。(下図参照)



お願い

- 安全装置の配線を短絡して運転しないでください。
- 必ず適切な処置を行い、それでも異常のあるときは、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

7-2 その他の装置

装置名	ランプ表示 状況	原因	対処方法
逆相・欠相防止リレー (200V) ・バーナモータの逆 転を防止するため、 電源の相が違うと きに作動	安全ランプ 消灯	誤配線	・元電源を切り、お買 い上げの販売店、ま たはお近くのネポン 営業所にご連絡くだ さい。
低電圧補償回路 ・元電圧が一定の電 圧以下に下がった とき作動	燃焼停止	●AWH/S-501 ～101GB 90V以下になったとき ●AWH/S-1201 ～2001GB 180V以下になったとき	・電力会社の指定工事 店に依頼し、対策し てください。 元電圧が回復すると 燃焼を開始します。



危険

- ガス配管や弁類からガス漏れがないか確認してください
爆発や火災のおそれがあります。
- 煙道・煙突および排気口が正しく接続されているか確認してください
運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 煙突がつまったり、ふさがれていないか確認してください
運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給気口付近に物を置いたり、雪などでふさがれていないか確認してください
ふさがれているときは、取り除いてください。
閉そくしていると運転中に排ガスが漏れて、危険です。



警告

- オプション品（別売品）もネポン指定品を使用してください
指定以外の部品を使用すると、事故・故障のおそれがあります。



注意

- 屋外設置において、雨天時に点検やお手入れを行う場合、本体内部機器に雨水がかからないようにしてください
感電のおそれがあります。
- 日常の点検やお手入れは必ず行ってください
機器が故障するおそれがあります。
- 点検やお手入れをするときは、機器を停止させ、元電源を切り、必ずガス元栓を閉じてください
けがのおそれやガスが室内に漏れて、危険です。
- 機器の水抜きは、機器が冷えてから行ってください
やけどのおそれがあります。

点検やお手入れのときは

お願い

- 必ずバーナ制御盤の電源「切」スイッチを押して、機器が完全に停止してから行ってください。
- 機器が冷えてから行ってください。
- ガス元栓を閉じてください。
- 異常などを見つけたときは使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

■部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご相談ください。

8-1 毎日の点検・お手入れ

- ① 周囲の可燃物・危険物・ほこり
 - 機器、排気口の周囲に燃えやすいものがないか確認してください。
 - 機器およびその周囲は常に清掃し、ほこりなどはきれいにふきとってください。
- ② ガス漏れ
 - ガス配管や弁類からガスが漏れていないか確認してください。
- ③ 水漏れ
 - 機器や配管などから水漏れ、たまり、にじみなどがいないか確認してください。
- ④ アース
 - アースが確実に取り付けられているか確認してください。
- ⑤ 煙突の接続
 - 煙突の外れや、接続部から排ガスが漏れていないか確認してください。
- ⑥ 水高温度計の圧力
 - 水高温度計の圧力が、0.01MPa以上、0.1MPa以下であるか確認してください。
- ⑦ 異臭・異音（点検は運転中に行ってください）
 - こげ臭い、異常な音がするなどの異常がないか確認してください。

8-2 月に1〜2回の点検・お手入れ

- ① 煙突・排気口の周囲
 - 煙突・排気口が確実に取り付けられていることや、腐食による穴あきなどがいないか確認してください。
- ② 発煙（点検は運転中に行ってください）
 - 煙突トップから黒い煙が出ていないか確認してください。
- ③ 缶体底部にたまった異物などの除去
 - 給湯用にお使いの場合は、排水口のバルブを開いて1分ほど水抜きをしてください。

8-3 6カ月に1回の点検・お手入れ

定期点検のお願い

- より長くお使いいただくために、6カ月に1度定期点検をする必要があります。
- 点検には専門技術が必要ですので、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

お願い

- 6カ月に1回の「定期点検」をおすすめします。
 →46ページ「定期点検・お客様登録」を参照してください。

6カ月に1回の点検・お手入れ

取扱編

長期間使用しないときのお手入れ



注意

- 機器の水抜きは、機器が冷えてから行ってくださいやけどのおそれがあります。
- 凍結予防を必ず行ってください機器破損のおそれがあります。

9-1 凍結予防のしかた

■ 暖かい地域でも、冬季は給水・給湯配管、暖房配管、機器内の水が凍結し、機器が破損することがあります。
以下の方法で凍結予防をしてください。

低温度運転による方法

① 安全ランプの点灯を確認する

- 操作ボックスの安全ランプが点灯していることを確認してください。
- 消灯しているときは、配電盤の元電源およびバーナ制御盤の電源スイッチを入れてください。

② 温度調節をする

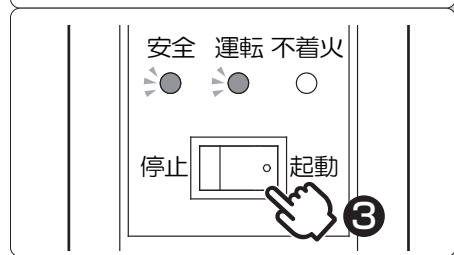
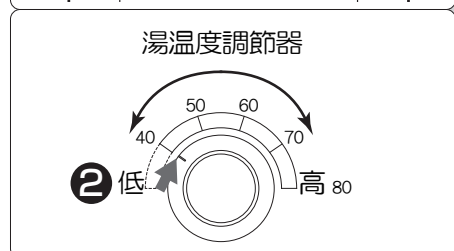
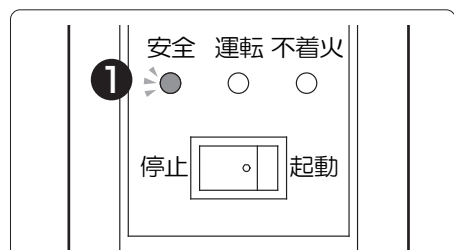
- 温度調節器つまみを回して「低」にしてください。

③ 運転スイッチを「起動」にする

- 運転ランプが点灯し、バーナが起動します。
- 給湯温度を約40℃に保つようにバーナが運転します。

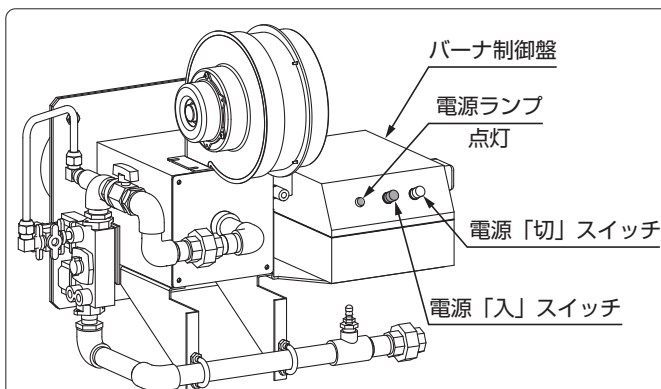
お願い

- 低温度運転は、夜間から朝までの凍結予防の場合に行ってください。長期間低温度運転をすると、結露水により缶体の寿命が短くなることがあります。

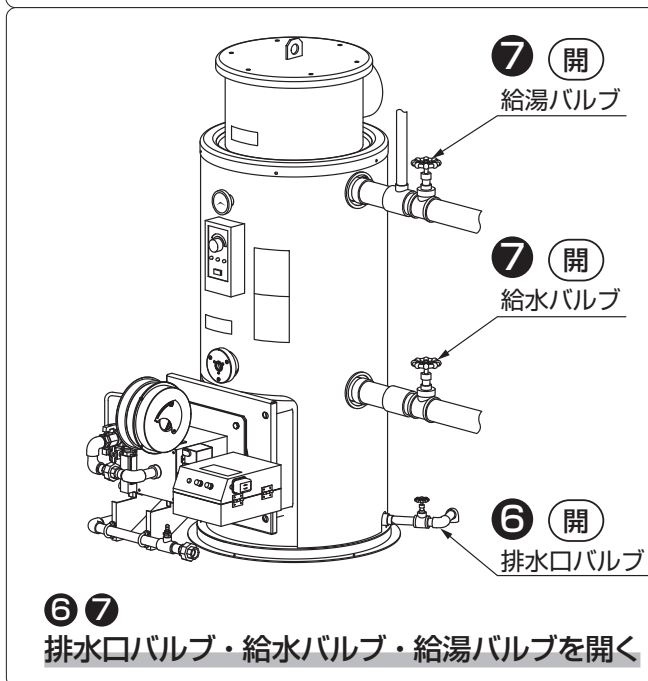


水抜きによる方法

- ① 運転スイッチを「停止」にする
- ② バーナ制御箱の電源「切」スイッチを押し、電源を切る
- ③ ガス元栓を閉じる
- ④ 配電盤の元電源を切る
- ⑤ 給水元栓を閉める
- ⑥ 排水口バルブを開く
◎ 缶体内の水抜きをしてください。
- ⑦ 給水バルブ、給湯バルブを開く
◎ 配管内の水抜きをしてください。
- ⑧ 再度使用するときは
→ 16 ページ「4. 使用前の準備」
→ 18 ページ「5. 運転前の確認」
の手順で行ってください。



② バーナ制御盤の電源「切」スイッチを押す



⑥ ⑦ 排水口バルブ・給水バルブ・給湯バルブを開く

お願い

- 必ず機器外の配管にも凍結予防処置をしてください。水漏れや機器破損の原因になります。
- 凍結のおそれがない場合は、缶体をさびから守るためにも、水抜きはしないでください。
- 凍結したままで使用しないでください。
- 凍結してしまった場合は、解けるまで待つか、凍結した部分にぬるま湯をかけて解かしてください。
その後、給湯栓から水が出ることを確認してから運転してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法



警告

- 異常（異音・異臭）を感じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に連絡してください
異常のまま使用すると感電や火災のおそれがあります。

- 修理を依頼される前に、一度確認してください。
原因が分からないときや、故障が確認されたときは、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

10-1 故障診断

状況	ランプ表示	原因	処置方法
電源ランプが消えている	電源ランプ 消灯	配電盤の元電源が切れている	配電盤の元電源を入れる
		電源スイッチが入っていない	電源スイッチを入れる
		停電している	通電されるまで使用を中止する ➔23ページ「6-3 停電発生時の処置」参照
		その他	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
安全ランプが消えている	安全ランプ 消灯	対震自動消火装置（地震感知器）が作動している	➔25ページ「7-1 安全装置 対震自動消火装置（地震感知器）」参照
		過熱防止器が作動している	➔25ページ「7-1 安全装置 過熱防止器」参照
		逆相・欠相防止リレー（200V）が作動している	➔26ページ「7-2 その他の装置 逆相・欠相防止リレー（200V）」参照
		その他	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
運転スイッチを「起動」にしても、バーナが起動しない（運転スイッチは「起動」にしているがバーナは停止している）	不着火ランプ 点灯	温度調節器の設定が低い	温度調節をする ➔21ページ「6-1 運転」参照
		燃焼安全制御装置が作動している	➔24ページ「7-1 安全装置 燃焼安全制御装置」参照
		その他	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください

故障・異常の見分けかたと処置方法

状 況	ランプ表示	原 因	処置方法
バーナは起動するが、運転ランプが点灯しない	運転ランプ 消灯	配線の外れ、断線 ランプの故障	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
バーナは起動するが、着火しない	不着火ランプ 点灯	ガス配管に空気が混入している 風圧スイッチの故障 イグナイタの故障 炎検出器の汚れ、調整不良、故障 燃焼安全制御装置の故障 電極プラグの汚れ、調整不良、故障 燃焼空気量の調整不良 パイロット遮断弁のつまり、故障	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
バーナは着火するが、すぐに失火する	不着火ランプ 点灯	ガス配管に空気が混入している 炎検出器の汚れ、調整不良、故障 燃焼安全制御装置の故障 燃焼空気量の調整不良 メイン遮断弁のつまり、故障	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
バーナは燃焼するが、振動したり、煙やすすが煙突から出る		燃焼空気量の調整不良 ガス圧の調整不良 煙道・煙突のつまり、不良 給排気不足	お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
バーナは燃焼しているが、給湯温度が上がらない		給水量または循環量が多すぎる メインテストコックが閉じている	流量を調節する メインテストコックを開く
水高温度計のゲージ圧力の値がいつもと違う		断水 水高温度計の故障	断水が解除されるまで使用を中止してください お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
電源ランプと安全ランプが点灯し、バーナモータは運転するが、燃焼しない		元電圧が低い ●AWH/S-501～101GB 90V以下になっている ●AWH/S-1201～2001GB 180V以下になっている	➡34 ページ「10-2 燃焼安全制御装置のランプ表示による診断」参照

10-2 燃焼安全制御装置のランプ表示による診断

バーナの運転状態と燃焼安全制御装置の動作（ランプ表示）

状態	ランプ表示
起動前（待機状態）	消灯
バーナモータ運転（プリパージ）	黄色 点灯
イグナイタ作動中	黄色 点滅
燃焼（フレーム電流 $5\mu\text{A}$ 以上：正常）	緑色 点灯
燃焼（フレーム電流 $1.5\sim 5\mu\text{A}$ ：フレーム電流不足）	緑色 点滅
警報作動時	赤色 点灯
電源電圧低下（電源電圧低下補償回路作動）	黄色と赤色の 交互点滅



警報作動時のエラーコード

- 燃焼安全制御装置の警報が作動すると、赤色ランプ表示になります。
- リセットボタンを3秒以上押すと、赤色ランプが点滅に変わり、点滅の回数で警報（エラー）内容を表示します。
- リセットボタンを約1秒押すと、警報がリセットされます。

点滅回数とエラー内容

点滅回数	警報（エラー）内容
2回	不着火
3回	起動時の燃焼空気圧力不足
4回	疑似火災
5回	燃焼中の燃焼空気圧力不足
7回	燃焼中の断火
10回	電気配線接続不良、燃焼安全装置の不良

エラー内容確認後に警報をリセットするときは、リセットボタンを約1秒押します。

部品交換のしかた



警告

- オプション品（別売品）もネポン指定品を使用してください
指定以外の部品を使用すると、事故・故障のおそれがあります。

- 部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所
にご相談ください。

仕様

12-1 仕様

仕様

■給湯・暖房 AWHシリーズ

型 式		AWH-501GB	AWH-601GB	AWH-701GB	AWH-801GB	AWH-901GB	AWH-1001GB	AWH-1201GB	AWH-1501GB	AWH-1801GB	AWH-2001GB	
種 類		鋼製簡易ボイラ										
熱出力 (kW)		58.2	69.8	81.4	93	105	116	140	174	209	233	
暖房用	循環量 (*1) (L/h)	5000	6000	7000	8000	9000	10000	12000	15000	18000	20000	
	循環抵抗 (Pa)	441	637	882	441	539	686	981	1520	2160	2700	
	暖房可能面積 (*2) (m ²)	291	349	407	465	525	580	700	870	1045	1165	
給湯用	缶水量 (貯湯量) (L)	116			152			256		250		
	給湯量 (*3) (L/h)	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2400	3000	3600	4000	
伝熱面積 (m ²)		1.75			2.55			3.72		3.96		
使用圧力 (MPa)		0.1										
バーナ	型 式	13A	EN-0501US-AW	EN-0601US-AW	EN-0701US-AW	EN-0801US-AW	EN-0901US-AW	EN-1001US-AW	EN-1201TS-AW	EN-1501TS-AW	EN-1801TS-AW	EN-2001TS-AW
		LPG	EL-0501US-AW	EL-0601US-AW	EL-0701US-AW	EL-0801US-AW	EL-0901US-AW	EL-1001US-AW	EL-1201TS-AW	EL-1501TS-AW	EL-1801TS-AW	EL-2001TS-AW
	燃焼方式	先混合式ガンタイプバーナ										
	点火方式	電子イグナイタパルススパーク方式										
	炎監視装置	フレームロッド										
	制御方式	ON-OFF制御										
	電動機 (kW)	0.085	0.2						0.25	0.4		
	燃料消費量 (*4) (L/h)	13A	5.9	7.2	8.5	9.6	11	12.3	14.6	18.5	21.9	24.6
		LPG	2.7	3.3	3.9	4.4	5	5.6	6.7	8.5	10.6	11.3
	電源電圧・周波数	AC100V単相・50/60Hz						AC200V3相・50/60Hz				
消費電力 (kW)	0.12/0.14	0.17/0.2				0.19/0.23		0.2/0.25	0.28/0.39	0.47/0.55		
煙道接続口 (mm)	φ173				φ233			φ248		φ298		
標準煙突口径 (mm)	φ175				φ225			φ250		φ300		
燃焼空気量 (m ³ /h)	100	120	140	160	180	200	240	300	360	400		
給気口・排気口寸法 (mm)	370×370	400×400	440×440	470×470	500×500	530×530	570×570	650×650	720×720	750×750		
製品重量	運搬質量 (kg)	214	220	221	279			358	361	389		
	運転質量 (kg)	330	336	337	431			614	617	639		
安全装置	燃焼安全制御装置・過熱防止装置・対震自動消火装置 (オプション)											
付属品	水高温度計											

■給湯専用貯湯型 AWSシリーズ

型 式		AWS-501GB	AWS-601GB	AWS-701GB	AWS-801GB	AWS-901GB	AWS-1001GB	AWS-1201GB	AWS-1501GB	AWS-1801GB	AWS-2001GB	
種 類		鋼製簡易ボイラ										
熱出力 (kW)		58.2	69.8	81.4	93	105	116	140	174	209	233	
給湯用	缶水量 (貯湯量) (L)	600			950			1300		1600		
	給湯量 (*3) (L/h)	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2400	3000	3600	4000	
伝熱面積 (m ²)		1.75			2.55			3.72		3.96		
使用圧力 (MPa)		0.1										
バーナ	型 式	13A	EN-0501US-AW	EN-0601US-AW	EN-0701US-AW	EN-0801US-AW	EN-0901US-AW	EN-1001US-AW	EN-1201TS-AW	EN-1501TS-AW	EN-1801TS-AW	EN-2001TS-AW
		LPG	EL-0501US-AW	EL-0601US-AW	EL-0701US-AW	EL-0801US-AW	EL-0901US-AW	EL-1001US-AW	EL-1201TS-AW	EL-1501TS-AW	EL-1801TS-AW	EL-2001TS-AW
	燃焼方式	先混合式ガンタイプバーナ										
	点火方式	電子イグナイタパルススパーク方式										
	炎監視装置	フレームロッド										
	制御方式	ON-OFF制御										
	電動機 (kW)	0.085	0.2						0.25	0.4		
	燃料消費量 (*4) (L/h)	13A	5.9	7.2	8.5	9.6	11	12.3	14.6	18.5	21.9	24.6
		LPG	2.7	3.3	3.9	4.4	5	5.6	6.7	8.5	10.6	11.3
	電源電圧・周波数	AC100V 単相・50/60Hz						AC200V 三相・50/60Hz				
消費電力 (kW)	0.12/0.14	0.17/0.2				0.19/0.23		0.2/0.25	0.28/0.39	0.47/0.55		
煙道接続口 (mm)	φ173				φ233			φ248		φ298		
標準煙突口径 (mm)	φ175				φ225			φ250		φ300		
燃焼空気量 (m ³ /h)	100	120	140	160	180	200	240	300	360	400		
給気口・排気口寸法 (mm)	370×370	400×400	440×440	470×470	500×500	530×530	570×570	650×650	720×720	750×750		
重製品	運搬質量 (kg)	352	358	359	468			576	579	647		
	運転質量 (kg)	952	958	959	1418			1876	1879	2247		
安全装置	燃焼安全制御装置・過熱防止装置・対震自動消火装置 (オプション)											
付属品	水高温度計											

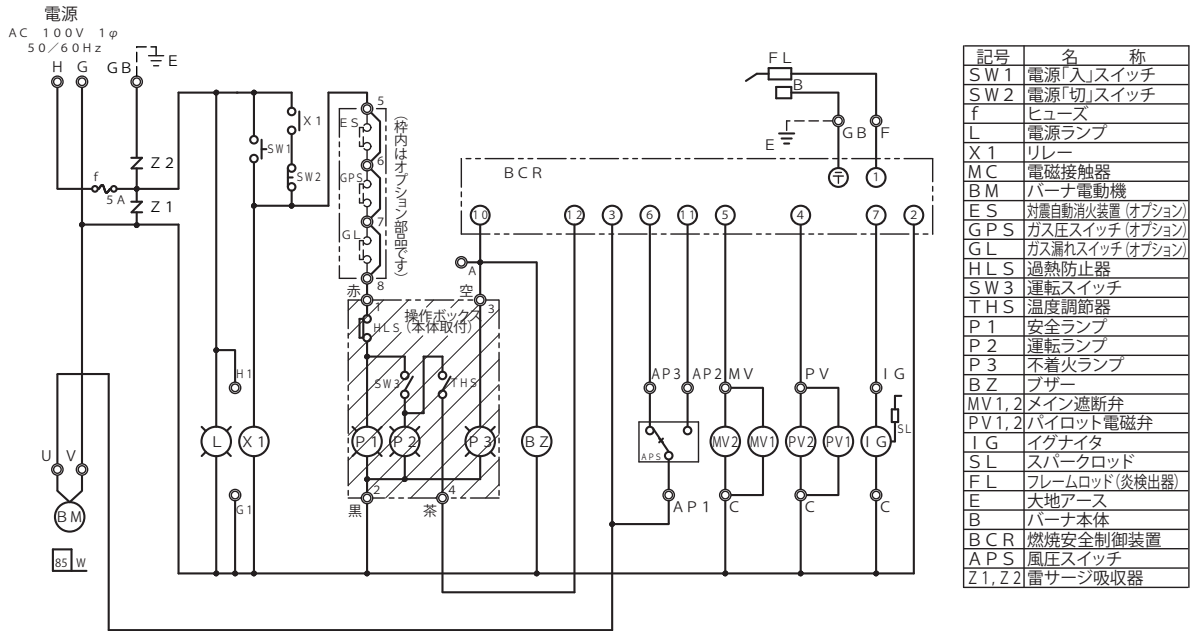
- 注 記
- 表中 (*1) の流量は、上昇温度10℃の条件で算定しています。
 - 表中 (*2) は、暖房負荷係数を0.2kW/m²で算定しています。
 - 表中 (*3) の流量は、上昇温度50℃の条件で算定しています。
 - 表中 (*4) は、下記の基準で算定しています。

燃料	13A	LPG
高発熱量 (MJ/m ³)	46	100
供給ガス圧 (kPa)	2	2.7

取扱編

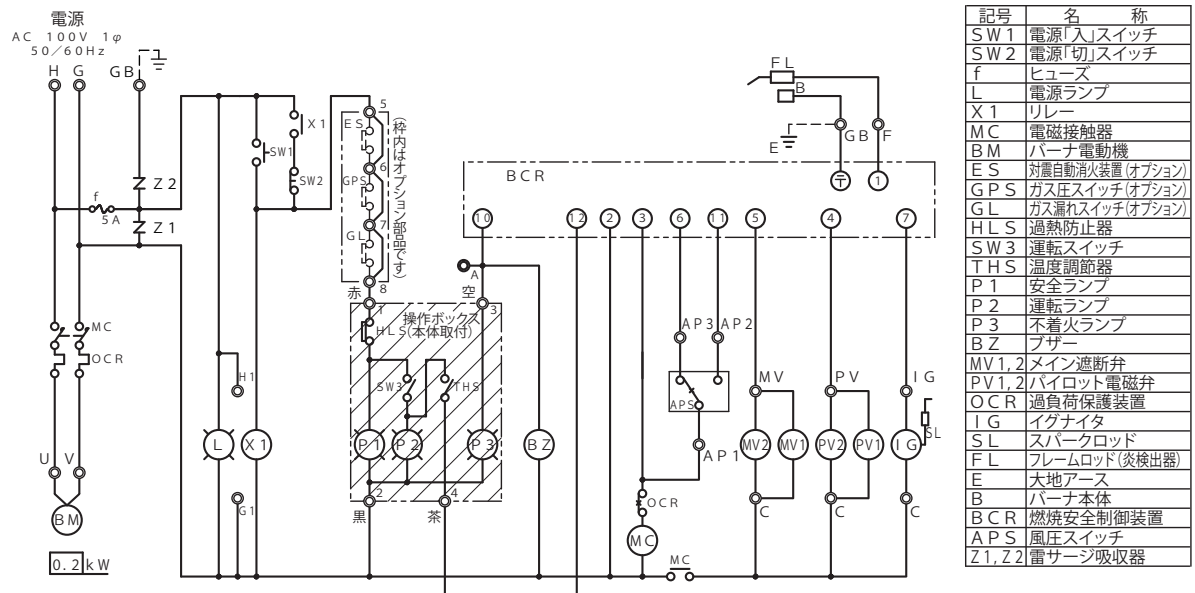
12-2 配線図

AWH/S-501GB



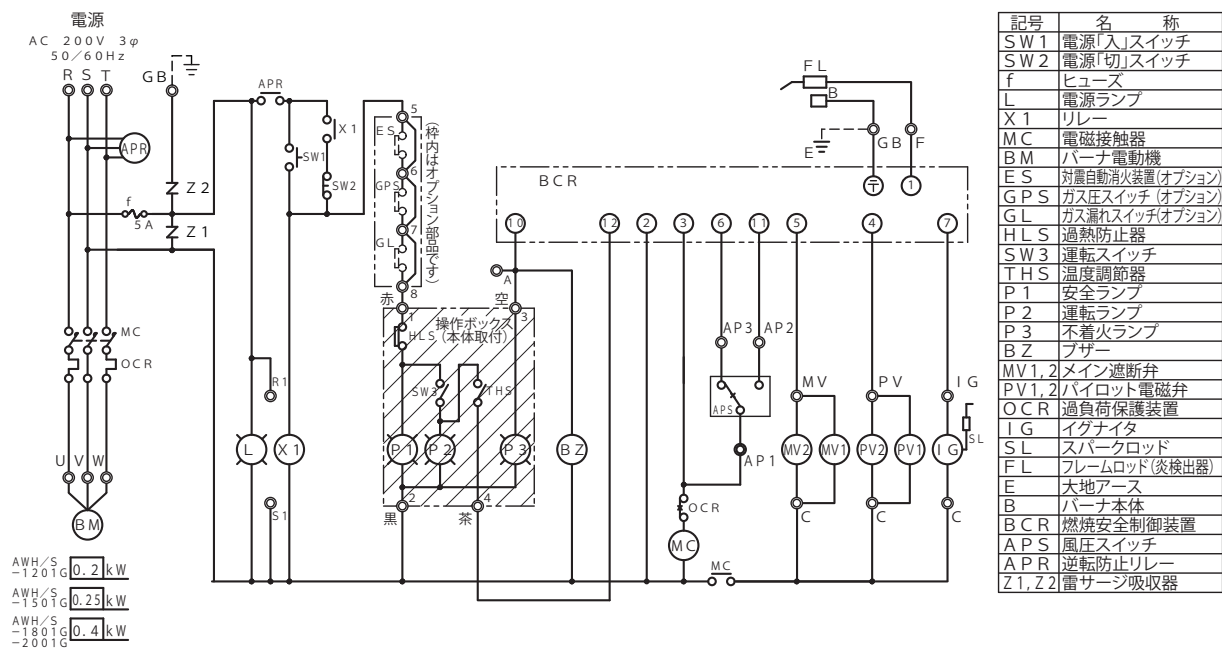
- 注記
1. 枠内は、ボイラ本体の操作箱です。
 2. 電源極性は、電圧側(H)、接地側(G)を正しく配線してください。
 3. 端子GBとバーナ本体および大地アースは必ず確実に行ってください。

AWH/S-601~1001GB



- 注記
1. 枠内は、ボイラ本体の操作箱です。
 2. 電源極性は、電圧側(H)、接地側(G)を正しく配線してください。
 3. 端子GBとバーナ本体および大地アースは必ず確実に行ってください。

AWH/S-1201~2001GB



- 注記
1. 斜線枠内は、ボイラ本体の操作箱です。
 2. 電源の接続は、極性を確認し電源側(R,T)、接地側(S)を正しく配線してください。
 3. 端子GBとバーナ本体および大地アースは必ず確実に行ってください。

据え付け工事



警告

- 据え付け・配管・電気工事は、必ずお買い上げの販売店、または工事業者に依頼してください
施工不備があると火災・水漏れ・感電のおそれがあります。



注意

- 据え付け工事が正しくされているか確認してください
不備があると漏電や火災のおそれがあります。
- アース線が確実に接続されているか確認してください
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 機器は金属以外で不燃性のしっかりとした床面に設置されているか確認してください
火災や転倒のおそれがあります。
- 基礎工事は確実にされているか確認してください
転倒や火災のおそれがあります。

13-1 据え付け工事前の確認

- 据え付け・配管・電気工事は、関連する法規に従って行われているか確認してください。

据え付け場所の選定

- 以下の注意を守り、近隣への騒音防止についても十分配慮し、水道工事や電気工事など付帯工事のできる場所に据え付けてあるか確認してください。



注意

- 次の場所には据え付けしないでください

- 水道配管工事、電気工事などの付帯工事ができない場所
- 水平でない場所、不安定な場所
- 腐食性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 雨水のかかる場所、雪の積もる場所
- 燃烧に必要な空気を取り入れる空気取り入れ口のない場所、または換気が行えない場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 排水のできない場所
- 高温多湿な場所
- 標高1000mを超える場所

- 換気扇などからの風が、機器の給排気に影響を与える場所

- 風が強くあたる場所

- 周囲に動植物や樹木などがある場所

- 設置後の保守管理が行えない場所

- 火災予防上の所定の距離がとれない場所

- 火災予防条例に従って煙突の取り付けができない場所

- 騒音公害になる場所

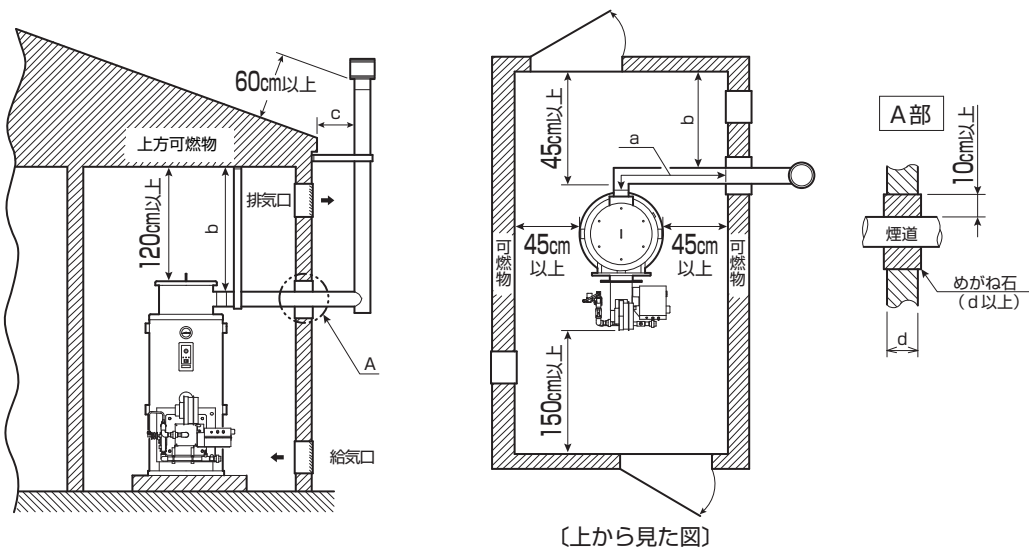
ブロック塀などが近くにある場合は、音が反射して大きくなる場合がありますので、隣家から離して設置しているか確認してください。隣家と接近して機器を設置する場合は、遮音工事がされているか確認してください。

⚠ 注意

●可燃物との距離を離してください

○標準据え付け例

■屋内設置【東京都火災予防条例による】



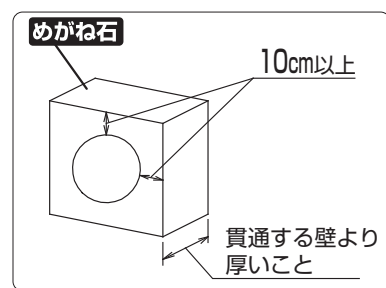
- ・煙突の長さ a が、機器から 180 cm 以内の部分では、煙突と可燃物との距離 b を 45 cm 以上とすること。
- ・煙突の長さ a が、機器から 180 cm を越える部分では、煙突と可燃物との距離 c を 15 cm 以上とすること。

■コンクリート等、金属製以外の不燃材の床上に据え付けてあるか確認してください。(屋内設置機器)

■標高1000m以上の高地に設置する場合は、事前にお買い上げの販売店、または工事業者にご相談ください。

■煙突工事

- 壁貫通部が確実に工事されているか確認してください。
- 煙道・煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は、必ずめがね石を使用してください。
- 小屋裏、天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材で防火上有効な被覆をしてください。
- 可燃性の壁、天井、小屋裏、天井裏などを貫通する部分およびその付近では、煙突の接続はしないでください。
- 煙道・煙突が確実に固定されているか確認してください。
- 煙道・煙突は、風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線などで固定してください。
- 煙道・煙突は、1.5～2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は、支えまたはつり金具でしっかりと支持してください。



■給気口の確保

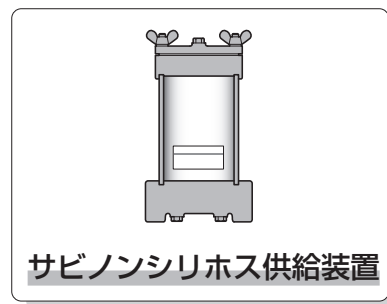
- 給気口・排気口がそれぞれ設けてあることを確認してください。
- 給気口・排気口の寸法は、36 ページ仕様表の「給気口・排気口寸法」を参照してください。

■水配管工事

◎銅配管が使用されていないか確認してください。銅配管が使われていると、腐食により缶体の寿命が著しく短くなる場合があります。

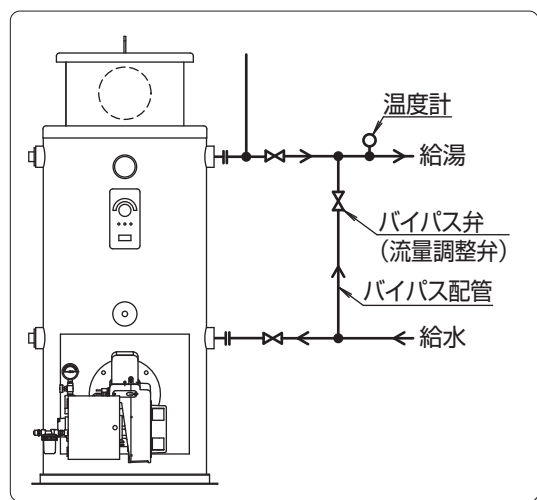
13-2 サビノンシリホス(防錆剤)供給装置の取り付け

◎オートカンを給湯に使用する場合、水質や配管の材質によっては腐食により赤水・さびが発生し、缶体の寿命が短くなります。
缶体を腐食から守るため、給水配管にはサビノンシリホス(防錆剤)供給装置を組み込み、防錆管理を十分に行ってください。



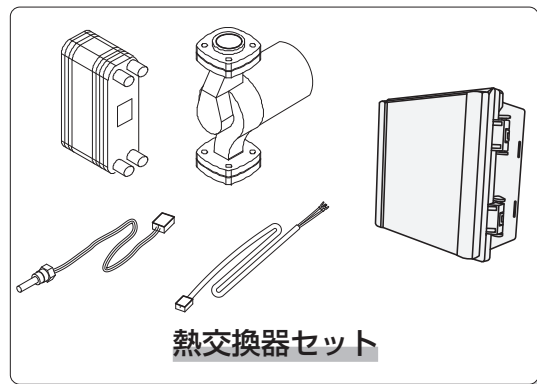
13-3 バイパス配管の取り付け

◎給湯温度を50℃未満で使用する場合、バイパス配管を設けてバイパス弁(流量調整弁)により給湯温度を調整してください。操作ボックスの温度調節つまみは、50℃以上にしてください。
缶水温度を50℃未満で使用すると、結露水により缶体の寿命が短くなることがあります。



13-4 熱交換器の取り付け

◎給湯用として熱交換器セットをオプションで用意しています。
水圧が必要な場合は、熱交換器セットをご使用ください。
◎オートカンをプールや浴槽の昇温に使用する場合、必ず熱交換器を使用して間接加熱をしてください。
直接加熱すると、薬品により缶体の寿命が短くなります。



サビノンシリホス(防錆剤)供給装置の取り付け

取扱編

13-5 電源配線の接続

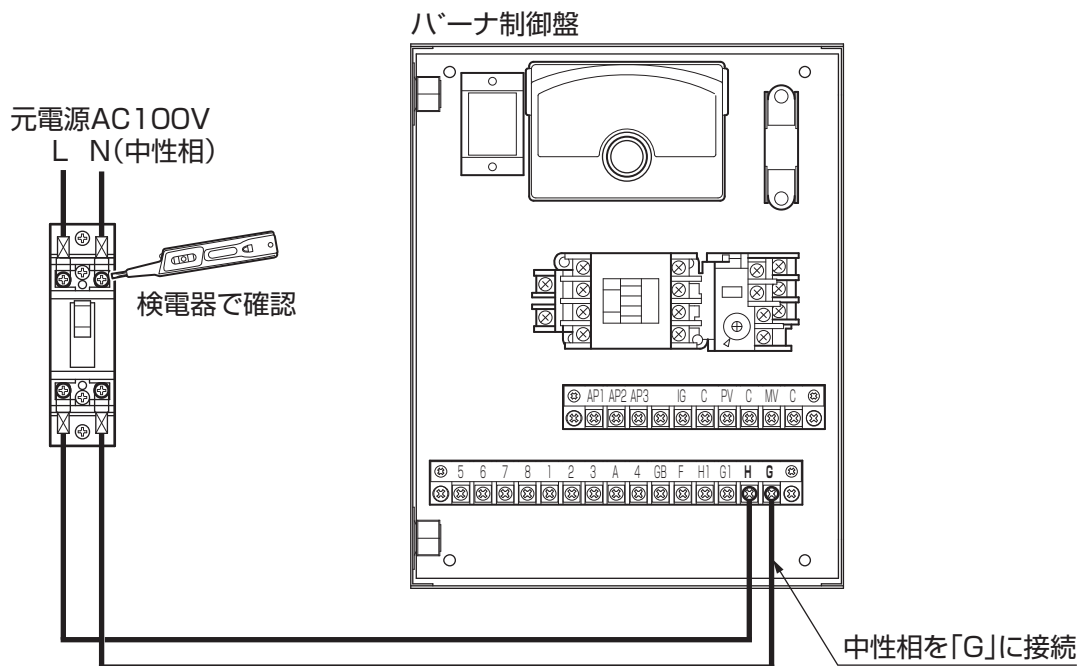
■電源配線は、電源の中性相（接地相）をバーナ制御盤の端子台「G」（100V用）、または「S」（200V用）に接続してください。

誤った接続をすると、フレーム電流を検知できずに不着火エラーになります。

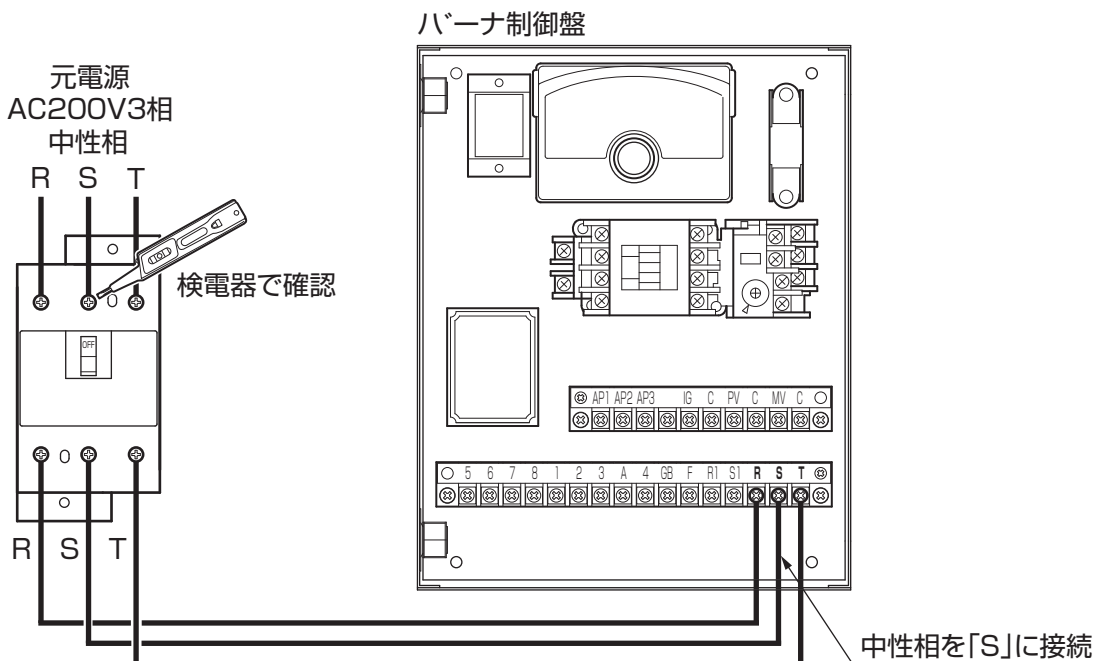
■下図を参照して、正しく配線してください。

中性相（接地相）は、検電器などで確認してください。

●AWH/S-501~1001GB



●AWH/S-1201~2001GB



13-6 据え付け工事後の確認

■下記のチェックシートに従って点検をしてください。

点 検 項 目	
■ 設置面の材料および周囲の材料と機器の距離	
1	床面は金属以外の不燃性で、水平・しっかりとした場所である。
2	機器の周囲は不燃材（コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど）で仕上げてある。
3	床面は防水処理を施し、排水ができる場所に設置されている。
4	火災予防上の所定の距離は、十分である。
5	機器の点検スペースは、十分確保されている。
6	本体のベースは基礎ボルトで固定されている。
■ ガス配管の施工	
7	ガス配管工事は、地域を管轄するガス会社、または指定工事業者で行っている。
8	供給ガス種と機器のガス種が一致している。
9	機器のすぐそばに専用のガス元栓を取り付けている。
10	ガスメータの容量は十分にある。
11	LPGの場合、ボンベ本数が十分にある。
12	ガス配管や弁類からガス漏れがないことを確認している。
■ 水道配管工事	
13	配管の固定は確実に行われている。
14	配管の接続は、シールテープやシール剤を使用して水漏れしていない。
15	機器の各接続口は、継手（ユニオンなど）を使用している。
16	空気のたまりやすい、中高配管になっていない。
17	配管システムの最低位置に、排水栓を取り付けている。
18	水道直結による給水はしていない。給水タンクなどを使用し、給水している。
19	膨張管が設けられている。
20	銅配管は使用していない。
21	排水管からの湯が確実に外に排水できる。
22	配管から水が漏れていない。

点 検 項 目	
■ 電気配線工事	
23	電気工事は、電力会社の指定工事業者で行っている。
24	アース工事は行われている。
25	電源は配電盤から専用回路で配線されている。
26	ケーブルの端子接続部に力が加わらないよう固定している。
■ 煙道・煙突の壁・屋根貫通部および寸法	
27	壁・屋根の貫通部はめがね石、またはめがね鉄板などの不燃性材料で断熱している。
28	貫通部の雨じまいは十分している。
29	煙突は、壁・天井など可燃物から十分な距離がとれている。
30	煙突は不燃性の支線・支持具でしっかり固定されている。
31	煙突に触れる場所には、やけど防止の不燃性カバーが取り付けられている。
32	めがね石、またはめがね鉄板周辺の可燃物と煙突とが接触していない。
33	煙突の接続部はリベット止め、またはビス止め等を行い、シーリング剤等でガス漏れ防止の処置がされている。
■ 給排気口	
34	屋内設置の場合、給気口・排気口がそれぞれ施工されている。
35	給気口および排気口付近に物などを置いてふさいでいない。
■ 凍結予防	
36	配管に凍結予防のヒータを巻くなどの、凍結予防処理がされている。

移設・廃棄・譲渡



警告

- 移設する場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ依頼してください
不備があると感電や火災のおそれがあります。



注意

- 譲渡のときは取扱説明書を添付してください
お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡するときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を機器の目立つ場所にテープ止めしてください。
- 廃棄は専門業者へ依頼してください
廃棄する場合は必ず専門業者へ依頼してください。絶対に投棄などはいないでください。



定期点検・お客様登録

定期点検について



注意

- 定期的に点検・整備を受けてください
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはサービスセンターまでご連絡ください。

また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所

または

サービスセンター

FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX  0120 - 926413

お客様登録について

ネポン製品をご購入いただいたお客様には、「お客様登録」をお願いしております。

「お客様登録」をしていただきますと、定期点検のご案内や、お使いの製品についての重要なお知らせなどをお届けします。

製品に同封の「お客様登録用紙」に必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてご登録いただくか、ネポンホームページの登録フォームよりご登録いただきますようお願いいたします。

FAXによるお客様登録は…

FAX  0120 - 926413

インターネットによるお客様登録は…

<http://www.nepon.co.jp/>



保証とアフターサービス

保証について

- この製品は、保証書を添付していません。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後12年です。
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

32～34ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切り（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜き）、止水栓を閉め給水を止めて、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

■保証期間中は…

修理に関しては保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは…

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。

技術料…故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代…修理に使用した部品代金です。

交通費…車両・移動に必要な料金です。

■ご連絡いただきたい内容

●品名 ●型式

●お買い上げ日（年月日）

●故障の状況（できるだけ具体的に）

●お名前 ●電話番号

●ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください）

●訪問希望日

修理のご用命は…

お買い上げの
販売店

または


お近くの
ネポン営業所

ご相談

サービスセンター

☎(046) 247-3195

月曜日～金曜日 9:00～17:00

FAX  0120-926413

お買い上げ年月日／ 年 月 日

お買い上げ販売店／

電話番号 () -

お客様へ

お買い上げ年月日、
販売店名を記入してください。
サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>